

令和4年12月28日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO)
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報 (2022年11月) について

このたび、京都市観光協会データ月報 (2022年11月) をとりまとめましたのでお知らせします。今回のホテル統計の対象施設数は112軒、旅館統計の対象施設数は28軒です。

11月の調査結果のポイント

ホテル統計

入国制限緩和と「全国旅行支援」に加え、紅葉シーズンを迎えたことで、3年ぶりに80%を超える高稼働となった

京都市内主要ホテル112施設における2022年11月の客室稼働率は80.2%となった。前月(10月)の63.7%からは16.5ポイント増、前年同月の58.9%からは21.3ポイント増となった。入国制限緩和と「全国旅行支援」の下支えの影響で、2019年11月(客室稼働率88.4%)以来、3年ぶりに80%を超える高水準に達した。特に紅葉シーズン(11/19~11/27)の平均客室稼働率は85.6%となり、前年同期間の69.7%から大幅に増加した(P8,P13)。

日本人延べ宿泊数の2019年同月比は、コロナ禍前からの対象施設のみで比較すると41.8%増

日本人延べ宿泊数は653,643泊となり、前月(10月)の533,611泊から22.5%増となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は21.9%増、2019年同月比は107.2%増となった。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ(57施設)で比較すると、前年同月比は22.6%増、2019年同月比は41.8%増となった。2019年同月は台風や消費税増税によって旅行需要が低下していたことや、ラグビーワールドカップ開催で早い時期から外国人観光客による客室の確保が進み、日本人客が予約しづらい状況にあったことも、2019年同月比が大きくなった要因と考えられる(P8)。

外国人延べ宿泊数は徐々に回復しており、外国人比率も18.3%とコロナ禍での最高値を更新

外国人延べ宿泊数は146,282泊となり、前月(10月)の84,907泊から72.3%増となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は4863.8%増、2019年同月比は46.9%減となった。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ(57施設)で比較すると、前年同月比は4291.6%増、2019年同月比は64.7%減となり、前月(10月)の2019年同月比80.8%減からさらに回復した。総延べ宿泊者数における外国人比率は18.3%と、前月(10月)の13.7%から増加した(P8)。

外国人延べ宿泊数の国・地域別構成比ではアメリカが最も高く、韓国はコロナ禍前の水準を大幅に上回った

外国人延べ宿泊数の国・地域別構成比では、アメリカが22.3%と最も多かった。国・地域別の2019年同月比では、主要国が軒並み減少となるなか、韓国が215.7%増と大きく伸長した。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ(57施設)で比較した場合の2019年同月比も86.5%増と、増加傾向は変わらなかった。これは、2019年夏ごろから日韓関係が悪化した影響からの反動によるものと考えられる(P14)。

平均客室単価、客室収益指数ともにコロナ禍前からの減少幅が縮小しつつも、ドル建てでは依然として低水準

平均客室単価は18,746円となり、前年同月の15,104円からは24.1%増、2019年同月の20,186円からは7.1%減となった。客室収益指数(平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1室あたりの売上高に相当する)は15,034円となり、前年同月の8,896円から69.0%増、2019年同月の17,844円からは15.7%減となった。平均客室単価が前年同月を上回るのは9か月連続である。ただし、円安の影響が大きく、米国ドル建てで換算すると2019年同月比で29.2%減となっている。パリやニューヨークでは客室単価が約4万円となっており、国際的には日本の宿泊費は格安となっている(P16,17)。

11月の旅館の客室稼働率は69.2%となり、コロナ禍で最高値となった

市内主要旅館28施設における11月の稼働率は69.2%となり、前月（10月）の60.0%から9.2ポイント増、前年同月の59.0%から10.2ポイント増、コロナ禍前である2019年同月の71.3%から2.2ポイント減となった。修学旅行の催行が続いていることや外国人の宿泊数も増加したことで稼働率が高まった。しかし、日本人1人当たり宿泊日数が1.48日と、2019年同月の1.68日から0.20日減少している。本来であれば春に催行されていた修学旅行がコロナ禍の影響で延期され、秋に予約が集中したことで、本来京都で連泊される予定だったところ、一部日程の宿泊が他地域で行われるケースがあったと考えられる（P19）。

市場環境全般

「行こう指数」は「全国旅行支援」と紅葉シーズンの影響で2019年平均値を大幅に上回った

日本人による京都観光への訪問意向「行こう指数」の2022年11月の値は163.2（2019年の平均値を100とした場合）となり、前月（10月）の146.9からは16.3ポイント増、前年同月の131.7からは31.5ポイント増となった。9か月連続で2019年平均値を上回った。10月11日から「全国旅行支援」が開始された事に加え、紅葉シーズンとなり見頃やスポットの検索数が増えたものと考えられる（P24）。

京都市内における宿泊施設の施設数は前年同月比4.9%減、客室数は前年同月比1.1%減となった

2022年11月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、9軒開業、38軒廃業、差し引き29軒減少して、3,479軒となり、前年同月の3,659軒からは4.9%の減少となった。総客室数（推計）は57,606室となり、前年同月の58,231室から1.1%の減少となった。前年同月比が減少に転じるのは、京都市が発表する統計を遡ることができる2014年以降では初めてである（P26）。

日帰り客を含めた市内の日本人来街者指数は、2019年同月を上回り、過去4年間で最高値を更新した

2022年11月の来街者指数は146.2（2019年の平均値を100とした場合）となり、前年同月の111.3を34.9ポイント上回り、集計開始以後4年間で最高値を更新した。コロナ禍前である2019年同月を上回ったのは3か月連続であり、全てのエリアで来街者数が2019年年間平均値を上回った（P27）。

市内4百貨店の総売上額は197億円を超え、前年同月比6.5%増となった

11月の市内4百貨店の総売上額は前年同月比6.5%増、コロナ禍前である2019年同月比では1.0%減とほぼ同水準になっている。また、免税売上額の前年同月比は941.6%増、2019年同月比では39.0%減となったが、入国制限緩和や円安の影響で、免税売上額も徐々に回復していると考えられる（P29）。

観光案内所の相談者数は10月から34.9%増となった

11月の相談者数は前月（10月）から34.9%増となったが、2019年同月比は40.2%減であった。外国人相談者数の2019年同月比は69.3%減であり、コロナ禍前の水準には至っていない（P30）。

今後の見通し

年明け以降の予測稼働率はやや落ち着くものの、潜在需要は高まっており、春頃の再回復には期待できる

11月時点の今後の客室稼働率の予測値は、12月71.5%、1月51.5%、2月50.6%となった。コロナ禍前の同時期の稼働率（実績）が、2019年12月76.1%、2019年1月65.6%、2019年2月78.5%であったことを踏まえると、来年1月、2月の予約状況はコロナ禍前の水準には達していない。例年、春節があり中国人宿泊客が増加する時期ではあるが、現時点では中国の観光目的の出入国制限緩和の見通しが立っていない事が影響していると考えられ、しばらくは観光事業者にとって厳しい状況が続くと予想される。

Googleによると、訪日旅行に関する潜在需要（航空および宿泊需要の検索動向の指数）は、11月時点で82.8となっており、コロナ禍前の2019年同月を大幅に上回り、需要指数は高水準で推移している。春に向けて、円安の後押しもあり訪日市場のさらなる回復が期待されるため、コロナ禍前に発生していた一部の観光地や交通機関の混雑、マナー違反等の観光課題対策に取り組むことにより、市民

生活と調和した持続可能な観光の実現を目指す必要がある。また、一部施設では人手不足によって稼働を抑えざるを得ない状況にあるため、受け入れ態勢を整える必要がある（P12,P25）。

参考：新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の期間（京都・東京）

時期	京都	東京	
2020年	4月	緊急事態宣言（1回目）4/16～5/21	緊急事態宣言（1回目）4/7～5/25
	5月		
	6月	他府県への移動自粛 5/22～6/19	他府県への移動自粛 5/26～6/19
	7月		
	8月	GoToトラベル キャンペーン 6/19～9/30	
	9月	7/22～12/27	
	10月		GoToトラベルキャンペーン 10/1～12/27 ※東京が目的地12/18～12/27一時停止
	11月		もっとTokyoTokyo 10/23～11/28
	12月		
2021年	1月	緊急事態宣言（2回目）1/14～2/28	緊急事態宣言（2回目）1/8～3/21
	2月		
	3月		
	4月	まん延防止等重点措置 4/12～4/24	まん延防止等重点措置 4/12～4/24
	5月	緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20	緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20
	6月		
	7月	まん延防止等重点措置 6/21～7/11	まん延防止等重点措置 6/21～7/11
	8月	まん延防止等重点措置 8/2～8/19	緊急事態宣言（4回目）7/12～9/30
	9月	緊急事態宣言（4回目）8/20～9/30	東京五輪 7/23～8/8 8/24～9/5
	10月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 10/22～2/1	
	11月	※1/4～近隣府県民に拡大	KYOTOagain! 11/1～12/31
	12月	※1/12～近隣府県民、順次新規予約停止 ※1/26～京都府民の予約停止	
2022年	1月		
	2月	まん延防止等重点措置 1/27～3/21	まん延防止等重点措置 1/21～3/21
	3月		
	4月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 3/22～10/10	
	5月	※GW（4/30～5/8）を除く	
	6月	※6/1～近隣府県民に拡大（奈良県民除く） ※7/1～奈良県民に拡大	
	7月	※7/15～9/11大阪府民は対象外 ※9/12～大阪府民に拡大	もっとTokyo 6/10～7/31
	8月		
	9月		京都「にち・とま」キャン ペーン 8月お盆明け～10月
	10月		もっとTokyo 9/1～12/20
	11月	全国旅行支援（京都） 10/11～12/27	全国旅行支援（東京） 10/20～12/27
	12月		
2023年	1月		
	2月	全国旅行支援（京都） 1/10～3/31	全国旅行支援（東京） 1/10～3/31
	3月		

出所) 京都市 HP、東京都 HP、GoTo トラベル HP、きょうと魅力再発見旅プロジェクト HP、ただいま東京プラスHP等を参考に京都市観光協会で作成

調査概要	5
(1) 全体概要.....	5
(2) 調査対象.....	5
(3) 分析数値.....	5
(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて.....	5
(5) データ分析用ダッシュボードの提供について.....	6
(6) その他.....	7
ホテル統計	8
(1) 主要指標の一覧.....	8
(2) 延べ宿泊数 前年同月比の推移.....	10
(3) 客室稼働率・外国人比率の推移.....	12
(4) 追加調査：紅葉シーズンの日毎稼働率.....	13
(5) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比.....	14
(6) 国・地域別の延べ宿泊数 前年伸率・2019年伸率（単位 %）.....	14
(7) 外国人宿泊者実人数、訪日外国人、観光目的入国者数の伸び率.....	15
(8) 平均客室単価および客室収益指数.....	16
8-1. 調査対象施設の一部における主要経営指標.....	16
8-2. 平均客室単価の2019年同月比推移と為替の影響.....	17
8-3. 2022年11月の主要都市別主要経営指標（出典：STR）.....	17
旅館統計	19
(1) 主要指標の一覧.....	19
(2) 稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019年同月比の推移、外国人比率の推移.....	20
(3) 月20日以上休業した施設の割合.....	21
市場環境全般	22
(1) 宿泊予約サイトにおける12週間先までの客室販売価格の推移.....	22
(2) 京都観光意向指数（通称：行こう指数）.....	24
2-1. 日本人の訪問意向.....	24
2-2. 外国人の国際旅行意向.....	25
(3) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移.....	26
(4) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況.....	27
4-1. 市内の日本人来街者数の実績.....	27
4-2. 年代別の分布.....	28
(5) 京都市内4百貨店における免税売上げ.....	29
(6) 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR京都駅ビル2階.....	30
(7) 為替レートの推移.....	31
京都112ホテル宿泊状況調査結果 集計表（2022年11月）.....	32

(1) 全体概要

- 京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主な宿泊施設の協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ泊数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）。
- なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義しています。

(2) 調査対象

2022 年 11 月時点	ホテル		旅館	
	施設数	客室数	施設数	客室数
調査対象	112	19,039	28	680
市内全体 ^{※1}	304	36,197	367	5,311
カバー率	36.8%	52.6%	7.6%	12.8%

- ※1 平成 30 年の旅館業法改正にともないホテル・旅館の区分が廃止されたため、市内全体におけるホテルの施設数および客室数は、区分が廃止される直前までの旅館の数値に変動が無いものと仮定して算出している。
- ※2 前年と本年では対象施設数が異なる場合があるため、今回発表する前年の数値は昨年と異なる。
- ※3 P17 の客室収益指数 (RevPAR) 等の数値は、ホテルデータサービス会社 STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記ホテル施設数とは対象が一部異なる。

(3) 分析数値

「販売可能客室数」…日々販売されている客室数の月間累積値を示す。

例) 100 部屋を有する施設にて、20 室が改装工事中、80 室を 30 日間販売していた場合
販売可能客室数：80 室×30 日=2,400 室

「客室稼働率」… 「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合

「外国人比率」… 「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合

「構成比」… 「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合

「伸率」… 「前年の各国・地域の延べ人数」に対する「本年の各国・地域の延べ人数」の伸率

(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて

調査対象期間（2022 年 11 月 1 日～11 月 30 日）中、対象施設が臨時的に休業した場合は、通常営業していた期間のみを対象にして客室稼働率を算出します。

例) 100 部屋を有する施設が、以下のように営業をしていた場合

- ① 11 月 1 日～10 日期間（10 日）は 100 室のまま通常営業し、利用のあった客室数は 200 室
- ② 11 月 11 日～20 日期間（10 日）は 50 室に絞って営業し、利用のあった客室数は 100 室
- ③ 11 月 21 日～30 日の期間（10 日）は休業

販売可能客室数： 100 室×10 日（①期間） + 50 室×10 日（②期間） = 1,500 室

客室稼働率： 利用のあった客室数 300 室 ÷ 営業期間中の販売可能客室数 1,500 室 = 20%

調査対象施設における 2022 年 11 月（11 月 1 日～11 月 30 日）の臨時休業状況

臨時休業日数	全日休業 (30 日間)	20 日以上 ～30 日未満	10 日以上 ～20 日未満	10 日未満	休業なし
ホテル施設数	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	4 (3.5%)	107 (95.5%)
旅館施設数	1 (3.6%)	0 (0.0%)	2 (7.1%)	6 (21.4%)	19 (67.9%)

(5) データ分析用ダッシュボードの提供について

これまでデータ月報で発表してきた各種データを、自由に分析・加工していただける機能（Tableau ダッシュボード）を、京都市観光協会ウェブサイト内にて提供しております。

<p>利用方法</p>	<p>毎月のデータ月報発表ページ下部に、当該機能を利用するための案内メニューを掲載します。案内に従って料金をお支払いいただくと、ダッシュボードの URL とパスワードをお知らせいたします。京都市観光協会の会員、および京都文化交流コンベンションビューローの賛助会員は無料にてご利用いただけます。同じページ内に設置する専用フォームから、お申込みください。ご入会については、公式ウェブサイトからご確認ください。</p>  <p>◁ ダッシュボードのご利用申込みは、こちらからお願いいたします。 https://www.kyokanko.or.jp/dashboard</p>
<p>料金</p>	<p style="text-align: center;">月額 490円（税込）</p> <p>なお、毎月の利用権はデータ月報が発表される日にリセットされます（最新月のデータの追加と同時に、URL とパスワードを変更します）。毎月末頃の発表日直前にご購入いただいた場合、発表後に改めて翌月分のご購入をいただく必要がありますので、ご注意ください。</p>
<p>利用可能なデータ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 延べ宿泊数、実宿泊客数、稼働客室数の 前年同月比の月次推移 ● 客室稼働率の月次推移 ● 1 部屋当たり宿泊客数、1 人当たり宿泊日数の月次推移 ● 国・地域別の延べ宿泊数の 前年同月比の月次推移 ● 平均客室単価および客室収益指数の月次推移 ● 行こう指数の月次推移 ● 市内開業済・開業予定の 宿泊施設の位置情報（Google マイマップ）
<p>分析画面のイメージ</p>	 <p>京都市観光協会の公式サイト上で利用することができます。ログインにはパスワードが必要です。</p> <p>分析項目によっては、年月などの時点や、国籍・地域などで絞り込んだ表示切替を瞬時に行うことができます。</p> <p>Excel 形式等でダウンロードすることができ、用途に合わせて自由に分析、デザイン加工などをしていただくことができます。</p>

(6) その他

- 京都市観光協会データ月報は、調査対象施設のみなさまのご協力、ならびに京都市観光協会会員および京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員からの会費をもとに運営しております。
- 本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。ただし、P17のSTRデータについては、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。報道・メディア媒体への掲載については、(公社)京都市観光協会(担当：堀江)までお問合せください。
- 各種数値は、データ提供元である宿泊施設等からの訂正等により、後日予告なく修正される場合があります。原則として、後から発表される数値を正しいものとして利用いただくようお願いいたします。
- 京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設(旅館業法許可施設)を対象とする「京都観光総合調査」(京都市から年1回発表)が基本指標となります。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主な宿泊施設を対象とする標本調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数(日本全体)との比較等も参考分析という位置づけとなります。
- ご協力いただいている本調査対象ホテルには、エリア・客室数・ADRなどに分類集計したデータ、日毎稼働率の実績・予約データ(いずれも非公開)を毎月ご提供しております。調査参画をご希望の場合は、下記までお問合せください。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会

TEL : 075-213-0070 e-mail : marketing@kyokanko.or.jp

担当 : 企画推進課 神田、堀江

ホテル統計

(1) 主要指標の一覧

指標	2022年 11月	2022年 10月	前月 伸率・差	2021年 11月	前年同月 伸率・差	2019年 11月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2022年 11月	2022年 10月	—	2022年 11月	—	2020年 11月	—
調査対象施設数	112	116	—	112	—	66	—
販売可能客室数	569,966 室	588,928 室	▼ 3.2%	543,629 室	△ 4.8%	371,100 室	△53.6%
稼働客室数	457,246 室	374,968 室	△21.9%	320,380 室	△42.7%	327,994 室	△39.4%
客室稼働率	80.2 %	63.7 %	△16.5pts	58.9 %	△21.3pts	88.4 %	▼8.2pts
日本人延べ宿泊数	653,643 泊	533,611 泊	△22.5%	536,254 泊	△21.9%	315,452 泊	△107.2%
外国人延べ宿泊数	146,282 泊	84,907 泊	△72.3%	2,947 泊	△4863.8%	275,617 泊	▼46.9%
総延べ宿泊数	799,925 泊	618,518 泊	△29.3%	539,201 泊	△48.4%	591,069 泊	△35.3%
外国人比率	18.3 %	13.7 %	△4.6pts	0.5 %	△17.8pts	46.6 %	▼28.3pts
1部屋当たり宿泊客数	1.75 人	1.65 人	△0.10 人	1.68 人	△0.07 人	1.80 人	▼0.05 人
1人当たり宿泊日数	1.90 泊	1.83 泊	△0.08 泊	1.78 泊	△0.13 泊	1.85 泊	△0.05 泊

注) 過去の調査回答数値に誤りがあった為、2019年の値は発表当時の値から訂正しております。また、集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみに絞った場合の主要指標

指標	2022年 11月	2022年 10月	前月 伸率・差	2021年 11月	前年同月 伸率・差	2019年 11月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2022年 11月	2022年 10月	—	2022年 11月	—	2020年 11月	—
調査対象施設数	57	57	—	57	—	57	—
販売可能客室数	368,158 室	378,282 室	▼ 2.7%	361,621 室	△ 1.8%	359,250 室	△ 2.5%
稼働客室数	300,363 室	250,077 室	△20.1%	211,500 室	△42.0%	317,173 室	▼ 5.3%
客室稼働率	81.6 %	66.1 %	△15.5pts	58.5 %	△23.1pts	88.3 %	▼6.7pts
日本人延べ宿泊数	438,308 泊	353,218 泊	△24.1%	357,484 泊	△22.6%	309,076 泊	△41.8%
外国人延べ宿泊数	92,883 泊	62,404 泊	△48.8%	2,115 泊	△4291.6%	263,411 泊	▼64.7%
総延べ宿泊数	531,191 泊	415,622 泊	△27.8%	359,599 泊	△47.7%	572,487 泊	▼ 7.2%
外国人比率	17.5 %	15.0 %	△2.5pts	0.6 %	△16.9pts	46.0 %	▼28.5pts
1部屋当たり宿泊客数	1.77 人	1.66 人	△0.11 人	1.70 人	△0.07 人	1.81 人	▼0.04 人
1人当たり宿泊日数	1.80 泊	1.76 泊	△0.04 泊	1.70 泊	△0.10 泊	1.85 泊	▼0.05 泊

注) 過去の調査回答数値に誤りがあった為、2019年の値は発表当時の値から訂正しております。また、集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

【参考】京都市全体および日本全体との比較（単位 %）

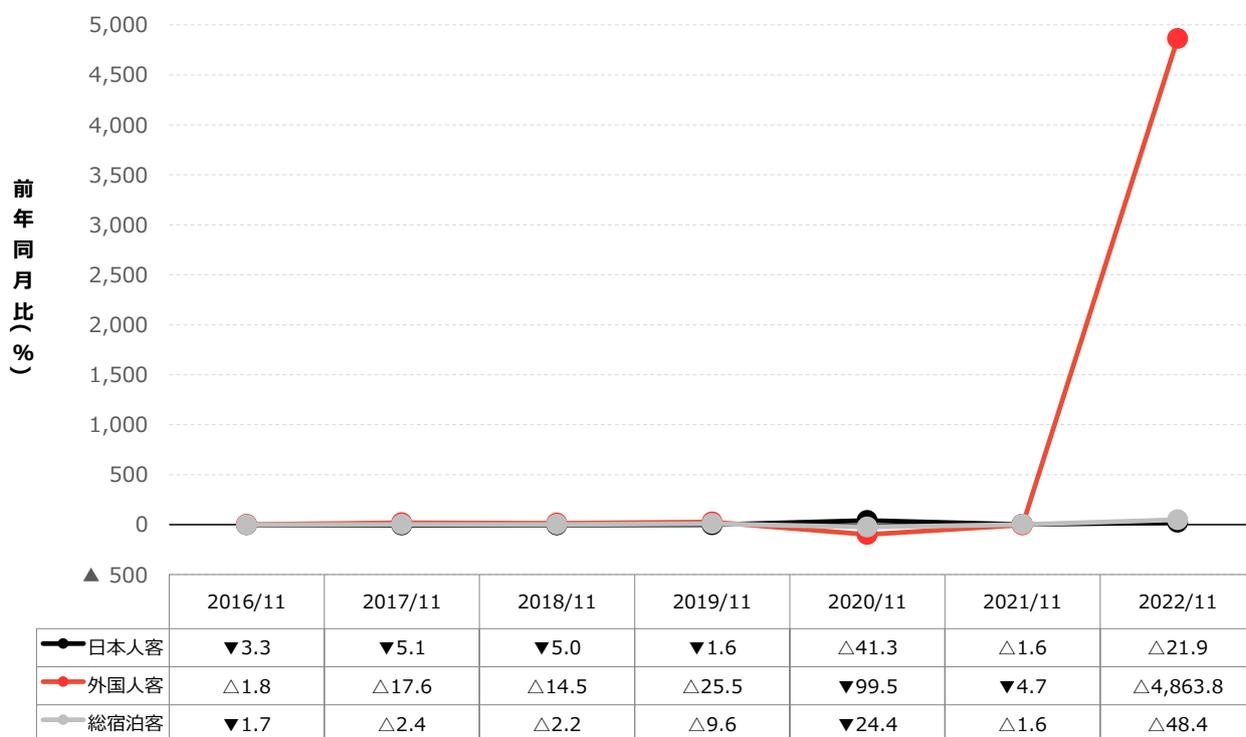
年	月	客室稼働率			延べ宿泊数 前年比			延べ宿泊数 外国人比率		
		ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体	ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体	ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体
2020	1	66.8	57.3	62.3	△6.0	△89.8	△1.1	49.9	43.9	22.5
	2	54.3	49.2	59.9	▼28.7	△27.8	▼14.0	28.5	28.3	13.0
	3	29.6	31.6	35.9	▼64.2	▼33.9	▼53.2	14.2	15.8	4.7
	4	6.1	6.6	17.2	▼94.8	▼89.8	▼80.9	4.2	4.2	2.1
	5	8.1	5.6	13.6	▼96.0	▼92.2	▼84.9	0.8	3.0	1.7
	6	14.6	14.1	24.8	▼86.8	▼76.7	▼68.9	0.7	2.4	1.3
	7	20.0	20.7	32.5	▼74.6	▼59.7	▼58.3	0.5	1.6	1.0
	8	23.4	22.1	34.7	▼70.2	▼53.4	▼58.6	0.4	1.0	0.8
	9	32.6	30.6	40.3	▼55.5	▼33.6	▼46.6	0.4	0.8	0.7
	10	40.6	38.1	48.5	▼41.4	▼26.3	▼35.2	0.4	0.9	0.8
	11	63.3	57.3	52.8	▼9.9	△8.6	▼30.5	0.6	1.2	1.3
	12	39.0	36.9	42.5	▼37.8	▼19.7	▼40.9	0.7	1.1	1.8
2021	1	13.4	14.4	26.2	▼79.2	▼77.3	▼59.9	1.6	2.2	2.6
	2	19.7	19.2	30.5	▼61.8	▼64.9	▼52.9	0.6	0.8	1.2
	3	31.4	32.1	40.2	△25.8	△2.4	△14.0	1.3	2.1	1.0
	4	21.1	20.9	35.8	△384.9	△228.3	△131.2	0.7	0.8	1.0
	5	14.0	13.5	30.1	△360.7	△194.4	△163.0	0.6	0.8	1.2
	6	19.7	18.4	32.4	△92.7	△42.7	△37.6	0.5	0.8	1.2
	7	30.1	28.7	43.4	△87.7	△46.4	△38.6	0.5	0.9	2.5
	8	26.6	25.2	40.5	△34.4	△9.2	△18.5	0.5	1.0	1.9
	9	27.1	24.2	35.2	▼13.1	▼30.5	▼13.8	0.5	0.6	1.2
	10	38.8	34.1	46.7	▼2.9	▼19.0	▼2.6	0.6	0.8	0.9
	11	58.9	55.4	54.1	△1.6	▼8.0	△5.4	0.5	0.7	0.9
	12	55.2	48.2	54.1	△55.6	△36.8	△40.0	0.4	0.7	0.8
2022	1	32.7	29.1	39.2	△187.2	△104.3	△64.5	0.3	0.6	0.8
	2	31.9	27.9	38.4	△99.0	△43.7	△32.0	0.4	0.6	0.9
	3	44.8	41.3	47.5	△54.0	△34.4	△22.6	0.6	1.1	1.0
	4	47.1	42.7	50.5	△161.1	△111.3	△49.9	1.0	1.0	1.6
	5	49.9	45.9	51.2	△348.4	△272.9	△79.4	1.2	1.6	1.8
	6	51.0	46.3	53.3	△232.3	△189.3	△75.9	1.7	1.5	1.8
	7	47.2	44.8	54.8	△69.3	△75.2	△33.2	2.4	2.1	1.7
	8	49.2	46.5	57.9	△112.0	△99.4	△53.2	3.5	2.4	1.5
	9	54.4	52.1	57.1	△134.0	△144.6	△75.7	3.9	3.1	2.1
	10	63.7	-	-	△88.5	-	-	13.7	-	-
	11	80.2	-	-	△48.4	-	-	18.3	-	-

注) 京都市全体および日本全体の値は、観光庁 宿泊旅行統計 2次速報値をもとに集計

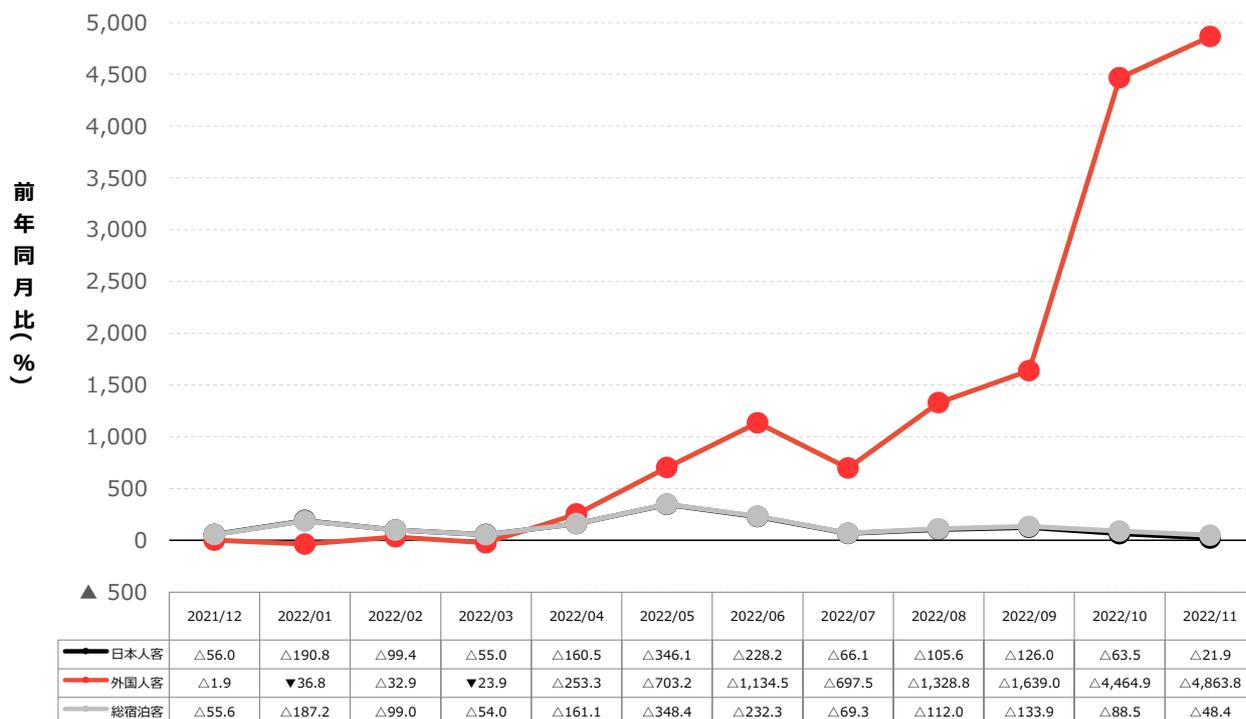
注) 過去の調査回答値に誤りがあった為、ホテル統計の各項目の値について発表当時の値から訂正しております

(2) 延べ宿泊数 前年同月比の推移

延べ宿泊数の前年同月比 年次推移

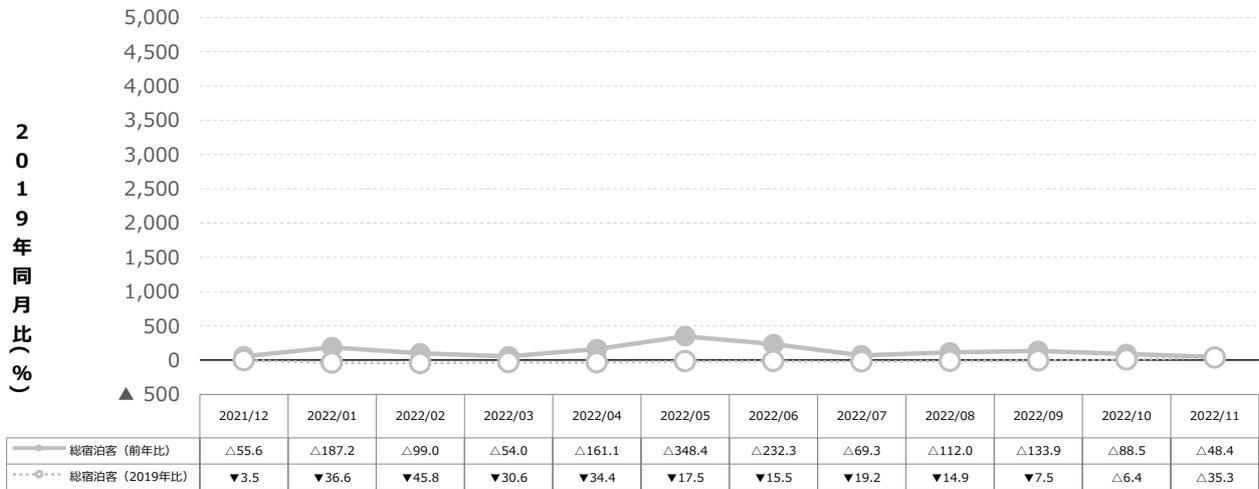


延べ宿泊数の前年同月比 直近 12 か月 月次推移

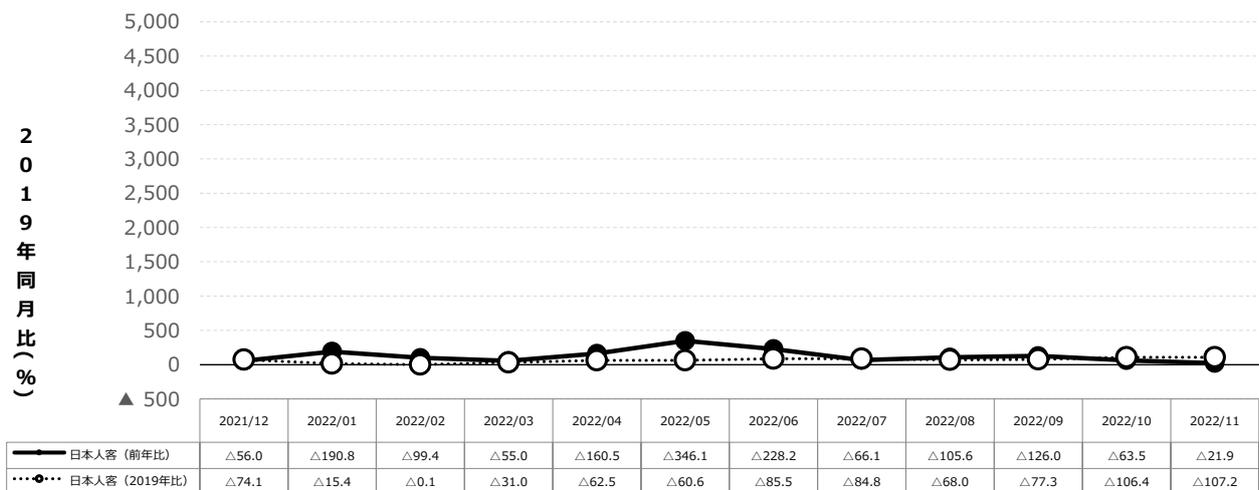


【参考】2019年との比較

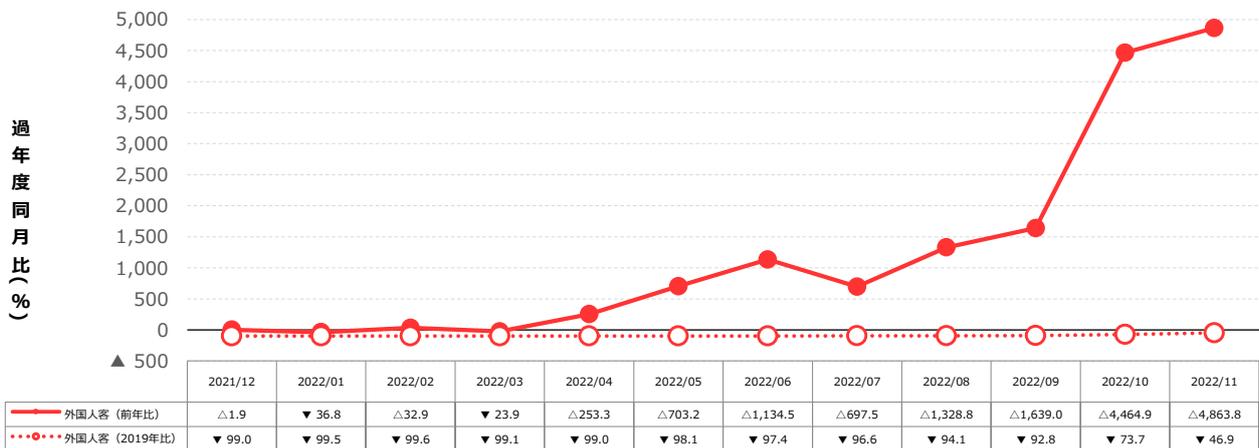
総延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移



日本人延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移

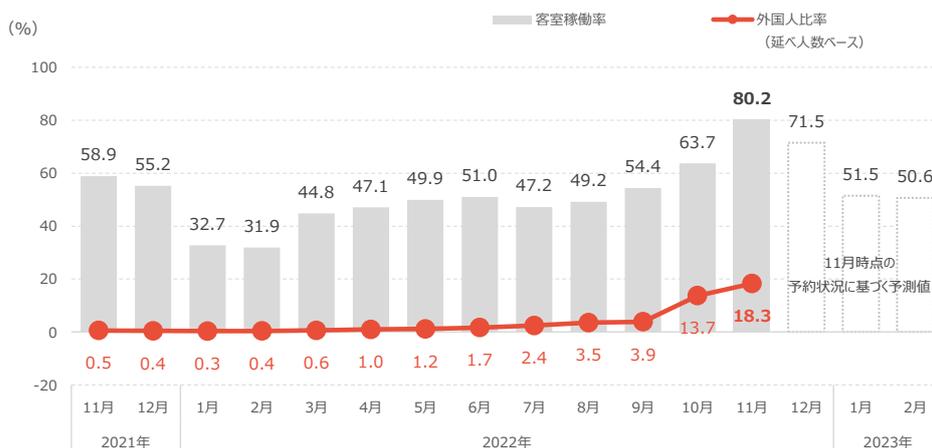


外国人延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移



(3) 客室稼働率・外国人比率の推移

- 京都市内主要ホテル 112 施設における 2022 年 11 月の客室稼働率は 80.2%となった。前月（10月）の 63.7%からは 16.5 ポイント増、前年同月の 58.9%からは 21.3 ポイント増となった。入国制限緩和と「全国旅行支援」の下支えの影響で、2019 年 11 月（客室稼働率 88.4%）以来、3年ぶりに 80%を超える高水準に達した。
- 11 月時点の今後の客室稼働率の予測値は、12 月 71.5%、1 月 51.5%、2 月 50.6%となった。コロナ禍前の同時期の稼働率（実績）が、2019 年 12 月 76.1%、2019 年 1 月 65.6%、2019 年 2 月 78.5%であったことを踏まえると、来年 1 月、2 月の予約状況はコロナ禍前の水準には達していない。例年、春節があり中国人宿泊客が増加する時期ではあるが、現時点では中国の観光目的の出入国制限緩和の見通しが立っていない事が影響していると考えられ、しばらくは観光事業者にとって厳しい状況が続くと予想される。



注) 客室稼働率の予測は、調査対象施設の一部における「1か月後」「2か月後」「3か月後」の客室予約状況の前年比データを 2017 年から収集し、実際の客室稼働率と照らし合わせることで、予測モデルを作成して算出している。

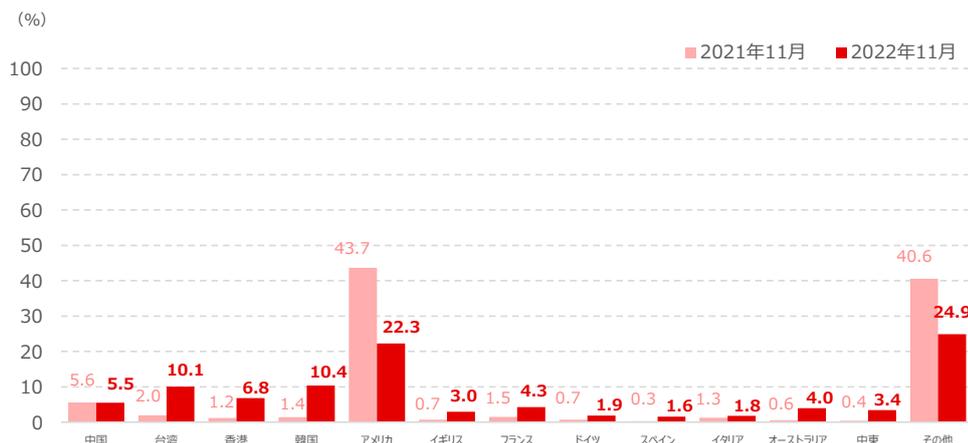
注) 過去の調査回答数値に誤りがあった為、2020 年以前の値について発表当時の値から訂正しております

(4) 追加調査：紅葉シーズンの日毎稼働率

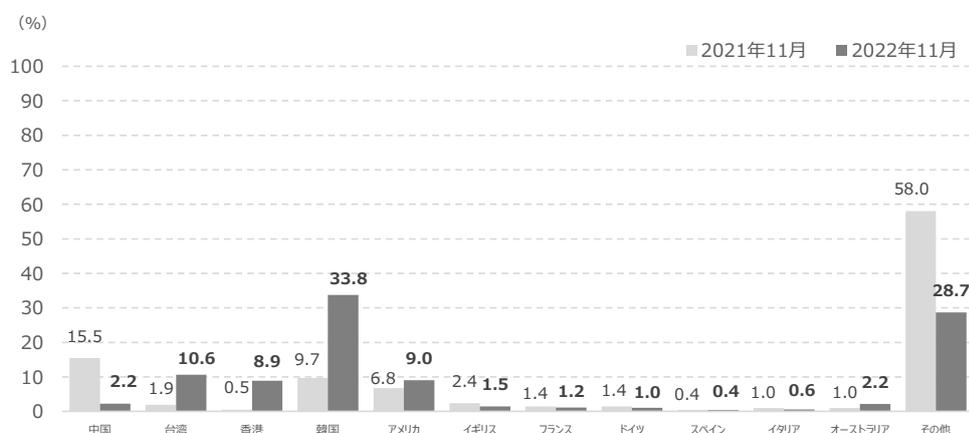
- 紅葉シーズン（11/19～11/27）について、追加調査（回答施設：最大 37 施設）を行ったところ、平均客室稼働率は 85.6% となり、前年同時期（11/20～11/28）の 69.7% から大幅に増加した。最も稼働率が高かったのは 11/26（土）で、93.0% にまで達した。
- また、繁閑差（集計期間中、最も稼働率が高かった日と低かった日の差）は、15.3 ポイントとなり、前年の 32.3 ポイントから大幅に縮小したことから、今年は前年に比べて休日だけでなく平日にまで需要が及んだと言える。これは、「全国旅行支援」で平日に宿泊する場合の地域クーポンの付与額が休日に宿泊する場合より多く設定されていたことや、外国人宿泊客が増えたことが要因だと考えられる。

	2022年			2021年			前年差	
	曜日	客室稼働率 (%)	回答施設数	曜日	客室稼働率 (%)	回答施設数		
11/19	土	92.8	37	11/20	土	86.9	34	△ 5.9
11/20	日	77.7	37	11/21	日	77.9	34	▼ 0.2
11/21	月	81.9	37	11/22	月	71.4	33	△ 10.5
11/22	火	84.3	37	11/23	祝	54.6	33	△ 29.7
11/23	祝	83.1	37	11/24	水	62.3	33	△ 20.8
11/24	木	86.0	36	11/25	木	67.4	33	△ 18.6
11/25	金	88.8	36	11/26	金	70.0	33	△ 18.8
11/26	土	93.0	36	11/27	土	78.3	33	△ 14.7
11/27	日	82.7	36	11/28	日	58.9	33	△ 23.8
期間平均		85.6		期間平均		69.7		△ 15.8
繁閑差		15.3		繁閑差		32.3		▼ 17.0

(5) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比



【参考】 訪日外客数・構成比 (国・地域別) (実人数) 出典：日本政府観光局 (JNTO)



(6) 国・地域別の延べ宿泊数 前年伸率・2019年伸率 (単位 %)

	京都主要ホテル		京都主要ホテル (2019年から調査対象施設のみ)		訪日外客 (JNTO)	
	前年伸率	2019年伸率	前年伸率	2019年伸率	前年伸率	2019年伸率
中国	△ 4,746.7	▼ 89.9	△ 5,267.5	▼ 94.1	△ 556.3	▼ 97.2
台湾	△ 24,861.0	▼ 42.6	△ 24,020.0	▼ 66.6	△ 24,775.0	▼ 74.6
香港	△ 28,282.9	△ 0.8	△ 51,916.7	▼ 34.5	△ 82,900.0	▼ 58.4
韓国	△ 38,080.0	△ 215.7	△ 223,675.0	△ 86.5	△ 15,670.0	△ 53.8
アメリカ	△ 2,432.2	▼ 24.6	△ 2,196.6	▼ 51.6	△ 5,921.4	▼ 43.4
イギリス	△ 21,790.0	▼ 62.3	△ 26,970.0	▼ 76.4	△ 2,620.0	▼ 63.9
フランス	△ 14,138.6	▼ 3.3	△ 7,753.6	▼ 65.1	△ 3,500.0	▼ 55.5
ドイツ	△ 12,833.3	▼ 53.4	△ 12,216.7	▼ 74.3	△ 3,133.3	▼ 50.3
スペイン	△ 26,088.9	▼ 66.0	△ 39,450.0	▼ 77.0	△ 3,900.0	▼ 65.8
イタリア	△ 6,676.9	▼ 55.0	△ 4,875.9	▼ 75.1	△ 2,500.0	▼ 57.9
オーストラリア	△ 30,863.2	▼ 60.3	△ 27,916.7	▼ 77.0	△ 10,000.0	▼ 58.2
中東	△ 41,216.7	▼ 5.1	△ 47,150.0	▼ 21.7	未発表	未発表

(7) 外国人宿泊者実人数、訪日外国人、観光目的入国者数の伸び率

- 京都市内主要ホテル 112 施設における 2022 年 11 月の外国人宿泊客実人数は 52,220 人となり、前月 10 月の 29,772 人から 75.4%増となった（ただし、調査対象施設が異なる為、比較には留意が必要である。また、本調査には日本在住外国人も含まれている）。
- JNTO が発表した訪日外国人数は 934,500 人と 10 月比で 87.4%増であり、京都市内主要ホテルの実宿泊客数は 75.4%増であった。訪日外国人数の増加に連動する形で、京都市内での宿泊数も増加している。

外国人宿泊者数（実人数）、訪日外国人数、観光目的入国者数の伸び率の比較

	調査施設数	外国人宿泊客実人数※			訪日外国人数 (JNTO)			観光目的入国者数 (出入国在留管理庁)	
		前月比	2019年 同月比		前月比	2019年 同月比		前月比	
2022 1月	101	446	-66.9%	-99.5%	17,800	47.1%	-99.3%		
2022 2月	104	417	-6.5%	-99.6%	16,700	-6.2%	-99.4%		
2022 3月	109	1,559	273.9%	-98.8%	66,100	295.8%	-97.6%		
2022 4月	108	1,658	6.4%	-98.9%	139,500	111.0%	-95.2%		
2022 5月	109	2,313	39.5%	-98.1%	147,000	5.4%	-94.7%		
2022 6月	108	2,848	23.1%	-98.0%	120,400	-18.1%	-95.8%	252	
2022 7月	111	4,476	57.2%	-96.9%	144,500	20.0%	-95.2%	7,903	3036.1%
2022 8月	111	4,574	2.2%	-96.5%	169,800	17.5%	-93.3%	10,826	37.0%
2022 9月	114	6,841	49.6%	-94.4%	206,500	21.6%	-90.9%	19,013	75.6%
2022 10月	116	29,772	335.2%	-79.1%	498,600	141.5%	-80.0%	288,909	1419.5%
2022 11月	112	52,220	75.4%	-53.5%	934,500	87.4%	-61.7%	732,311	153.5%

※日本在住外国人含む

出典) 日本政府観光局 (JNTO)、出入国在留管理庁

(8) 平均客室単価および客室収益指数

8-1. 調査対象施設の一部における主要経営指標

- 平均客室単価は 18,746 円となり、前年同月の 15,104 円からは 24.1%増、2019 年同月の 20,186 円からは 7.1%減となった。
- 客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1 室あたりの売上高に相当する）は 15,034 円となり、前年同月の 8,896 円から 69.0%増、2019 年同月の 17,844 円からは 15.7%減となった。
- 稼働率、客室平均単価、客室収益指数と全ての指数が前年同月から上昇した。平均客室単価が前年同月を上回るのは 9 か月連続である。宿泊需要が回復したことに加え、世界的な物価上昇や燃料価格の高騰、稼働率の改善に伴う人件費の増加を受けて、利益確保のために前年から販売価格を引き上げる施設が増えていると考えられる。コロナ禍前 2019 年同月比も客室平均単価が 7.1%減、客室収益指数が 15.7%減まで回復している。

月別の客室平均単価

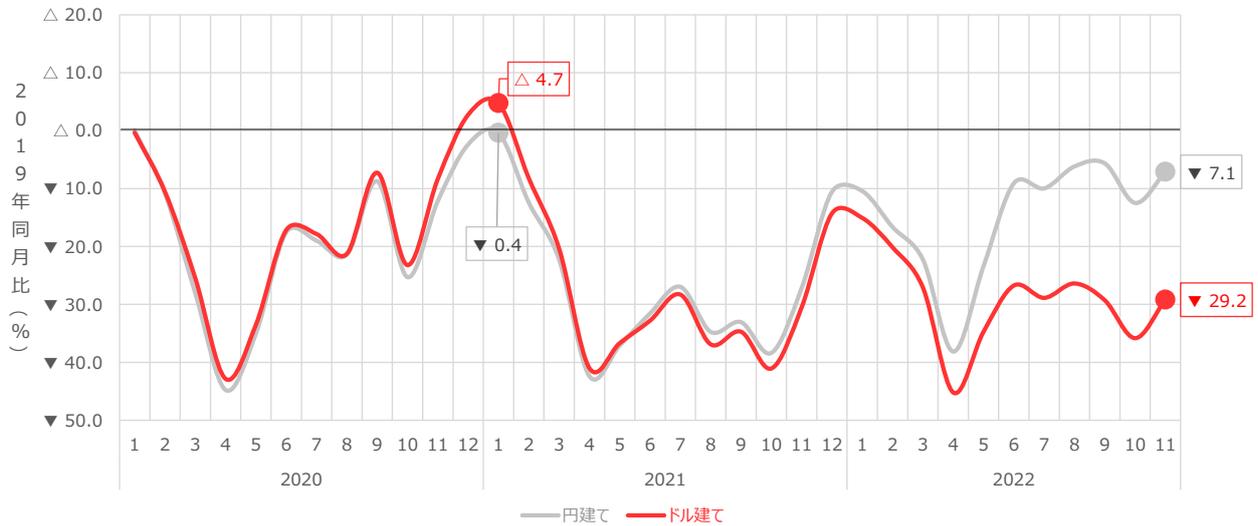
		本年 (円)	前年 (円)	前年比 (%)	2019年 (円)	2019年比 (%)
2021年	1 2月	12,363	13,258	▼ 6.8	13,825	▼ 10.6
2022年	1月	11,384	11,946	▼ 4.7	12,712	▼ 10.4
2022年	2月	10,524	10,672	▼ 1.4	12,628	▼ 16.7
2022年	3月	13,357	12,969	△ 3.0	17,185	▼ 22.3
2022年	4月	13,818	12,554	△ 10.1	22,341	▼ 38.1
2022年	5月	13,269	10,365	△ 28.0	17,318	▼ 23.4
2022年	6月	11,981	9,646	△ 24.2	13,181	▼ 9.1
2022年	7月	12,571	10,226	△ 22.9	13,966	▼ 10.0
2022年	8月	12,981	9,953	△ 30.4	13,838	▼ 6.2
2022年	9月	12,427	9,351	△ 32.9	13,175	▼ 5.7
2022年	10月	14,647	11,097	△ 32.0	16,739	▼ 12.5
2022年	11月	18,746	15,104	△ 24.1	20,186	▼ 7.1

月別の客室収益指数

		本年 (円)	前年 (円)	前年比 (%)	2019年 (円)	2019年比 (%)
2021年	1 2月	6,824	5,171	△ 32.0	10,521	▼ 35.1
2022年	1月	3,723	1,601	△ 132.5	8,339	▼ 55.4
2022年	2月	3,357	2,102	△ 59.7	9,913	▼ 66.1
2022年	3月	5,984	4,072	△ 46.9	14,607	▼ 59.0
2022年	4月	6,508	2,649	△ 145.7	20,085	▼ 67.6
2022年	5月	6,621	1,451	△ 356.3	14,391	▼ 54.0
2022年	6月	6,110	1,900	△ 221.6	10,518	▼ 41.9
2022年	7月	5,934	3,078	△ 92.8	10,768	▼ 44.9
2022年	8月	6,387	2,647	△ 141.2	11,499	▼ 44.5
2022年	9月	6,760	2,478	△ 172.8	10,922	▼ 38.1
2022年	10月	9,330	4,306	△ 116.7	14,412	▼ 35.3
2022年	11月	15,034	8,896	△ 69.0	17,844	▼ 15.7

8-2. 平均客室単価の2019年同月比推移と為替の影響

- 2022年11月の平均客室単価の2019年同月比は、日本円建てで計算すると7.1%減となった。しかしながら、米国ドル建てで換算した場合は29.2%減と、コロナ禍前の水準を大きく下回っている。入国規制緩和にともない、外国人観光客による宿泊需要が増加しつつあるが、日本人客と外国人客で客室価格に対する評価が大きく変わる（外国人客にとっては、コロナ禍前よりも割安に感じる状態である）ことに留意が必要である。



8-3. 2022年11月の主要都市別主要経営指標 (出典: STR)

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

(1) 主要指標の一覧

- 市内主要旅館 28 施設における 11 月の稼働率は 69.2%となり、前月（10 月）の 60.0%から 9.2 ポイント増、前年同月の 59.0%から 10.2 ポイント増、コロナ禍前である 2019 年同月の 71.3%から 2.2 ポイント減となった。修学旅行の催行が続いていることや外国人の宿泊数も増加したことで稼働率が高まった。しかし、日本人 1 人当たり宿泊日数が 1.48 日と、2019 年同月の 1.68 日から 0.20 日減少している。本来であれば春に催行されていた修学旅行がコロナ禍の影響で延期され、秋に予約が集中したことで、本来京都で連泊される予定だったところ、一部日程の宿泊が他地域で行われるケースがあったと考えられる

旅館統計

	2022年11月	2022年10月	前月比・差	2021年11月	前年同月比・差	2019年11月	2019年同月比・差
調査対象施設数	28	24		29		28	
販売可能客室数 (1カ月の延べ数)	19,226	17,528	△ 9.7%	18,753	△ 2.5%	20,273	▼ 5.2%
稼働客室数 (月間)	13,296	10,516	△ 26.4%	11,057	△ 20.2%	14,460	▼ 8.0%
客室稼働率	69.2%	60.0%	△ 9.2	59.0%	△ 10.2	71.3%	▼ 2.2
総延べ宿泊数	48,163	42,364	△ 13.7%	41,283	△ 16.7%	52,613	▼ 8.5%
総実宿泊客数	32,745	32,447	△ 0.9%	31,089	△ 5.3%	31,914	△ 2.6%
一部屋当たり客数	3.62	4.03	▼ 0.41	3.73	▼ 0.11	3.64	▼ 0.02
一人当たり宿泊日数	1.47	1.31	△ 0.17	1.33	△ 0.14	1.65	▼ 0.18
日本人延べ宿泊数	44,731	41,590	△ 7.6%	41,221	△ 8.5%	45,952	▼ 2.7%
日本人実宿泊客数	30,205	31,906	▼ 5.3%	31,027	▼ 2.7%	27,405	△ 10.2%
一人当たり宿泊日数 (日本人)	1.48	1.30	△ 0.18	1.33	△ 0.15	1.68	▼ 0.20
外国人延べ宿泊数	3,432	774	△ 343.4%	62	△ 5435.5%	6,661	▼ 48.5%
外国人実宿泊客数	2,540	541	△ 369.4%	62	△ 3996.9%	4,509	▼ 43.7%
一人当たり宿泊日数 (外国人)	1.35	1.43	▼ 0.08	1.00	△ 0.35	1.48	▼ 0.13
外国人比率	7.1%	1.8%	△ 5.3	0.2%	△ 7.0	12.7%	▼ 5.5
2019年同月からの 価格変動率	△ 3.7%	△ 1.0%	△ 2.8	-	-	-	-

注) 旅館の価格変動率は、食事無しの素泊まりの場合の価格をもとに算出している

前月（2022 年 10 月）、前年同月(2021 年 11 月)の値は当時の発表数値であり、調査対象施設数が異なる為、比較する際には注意が必要である。

注) 集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

(2) 稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019年同月比の推移、外国人比率の推移

稼働率の推移

	2022年	2021年	2020年	2019年
1月	18.8%	5.8%	-	-
2月	14.9%	4.3%	-	-
3月	27.9%	17.9%	-	-
4月	30.4%	3.9%	2.1%	79.2%
5月	64.0%	3.0%	2.0%	77.6%
6月	62.5%	11.2%	7.6%	69.9%
7月	37.6%	23.5%	8.8%	50.4%
8月	25.8%	9.0%	15.9%	47.3%
9月	59.8%	11.5%	28.2%	61.1%
10月	60.0%	45.1%	37.0%	70.0%
11月	69.2%	59.0%	52.8%	71.3%
12月		47.7%	26.8%	-

注) 2019年の稼働率は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない

延べ宿泊数 前年同月比・2019年同月比

	日本人客 (前年同月比)	外国人客 (前年同月比)	総宿泊客 (前年同月比)	日本人客 (2019年同月比)	外国人客 (2019年同月比)	総宿泊客 (2019年同月比)
2021年 12月	△ 99.9%	▼ 94.5%	△ 95.5%	-	-	-
2022年 1月	△ 461.2%	-	△ 461.3%	-	-	-
2022年 2月	△ 624.2%	△ 233.3%	△ 622.2%	-	-	-
2022年 3月	△ 143.5%	△ 237.5%	△ 143.6%	-	-	-
2022年 4月	△ 790.4%	△ 406.3%	△ 787.0%	▼ 54.3%	▼ 99.3%	▼ 65.5%
2022年 5月	△ 8330.8%	△ 1966.7%	△ 8305.0%	△ 0.0%	▼ 98.8%	▼ 7.4%
2022年 6月	△ 1240.1%	△ 2466.7%	△ 1241.0%	▼ 0.7%	▼ 98.1%	▼ 7.4%
2022年 7月	△ 65.0%	△ 784.6%	△ 65.6%	△ 32.7%	▼ 98.8%	▼ 10.9%
2022年 8月	△ 195.6%	△ 606.3%	△ 197.5%	▼ 57.5%	▼ 98.5%	▼ 67.4%
2022年 9月	△ 2155.2%	△ 9350.0%	△ 2163.0%	△ 9.4%	▼ 95.2%	▼ 0.4%
2022年 10月	△ 30.8%	△ 19250.0%	△ 33.2%	▼ 7.5%	▼ 83.9%	▼ 14.9%
2022年 11月	△ 8.5%	△ 5435.5%	△ 16.7%	▼ 2.7%	▼ 48.5%	▼ 8.5%

注) 2019年同月比は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない。

外国人比率

	2022年	2021年	2020年	2019年
1月	0.0%	0.0%	-	-
2月	0.2%	0.5%	-	-
3月	0.2%	0.1%	-	-
4月	0.5%	0.9%	6.3%	24.9%
5月	0.1%	0.4%	3.6%	7.5%
6月	0.1%	0.1%	0.3%	6.9%
7月	0.5%	0.1%	0.7%	33.2%
8月	1.1%	0.5%	0.3%	24.1%
9月	0.5%	0.1%	0.0%	9.4%
10月	1.8%	0.0%	0.0%	9.7%
11月	7.1%	0.2%	0.8%	12.7%
12月		0.1%	2.2%	-

注) 2019年の当該項目は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない

(3) 月20日以上休業した施設の割合

- 市内主要旅館28施設における月20日以上休業した施設の割合は3.6%となり、前月(10月)の4.2%から0.6ポイント減となった。感染症拡大が落ち着いたことや修学旅行の催行シーズンとなったことから、通常の営業状況に戻った施設が多かった。

月20日以上休業した施設の割合

	2022年	2021年	2020年	2019年
1月	37.9%	3.4%	-	-
2月	41.9%	9.7%	-	-
3月	23.3%	13.3%	-	-
4月	14.8%	-	-	3.7%
5月	6.9%	71.9%	3.1%	3.4%
6月	0.0%	50.0%	6.3%	3.7%
7月	17.9%	31.3%	12.5%	7.1%
8月	14.3%	25.0%	15.6%	3.6%
9月	7.1%	62.5%	3.1%	3.6%
10月	4.2%	19.4%	6.5%	4.2%
11月	3.6%	6.9%	10.3%	0.0%
12月		13.8%	13.8%	-

注) 2019年の当該項目は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない
また、2021年4月および2020年4月は、当該項目の調査を行っていないため、データはありません。

(1) 宿泊予約サイトにおける 12 週間先までの客室販売価格の推移

- 京都市内宿泊施設の 12 週間先までの客室販売価格は、前年同期を上回る水準で推移している。特に 3 月 11 日については 12 週間前で 3 万円を超える水準に達している。

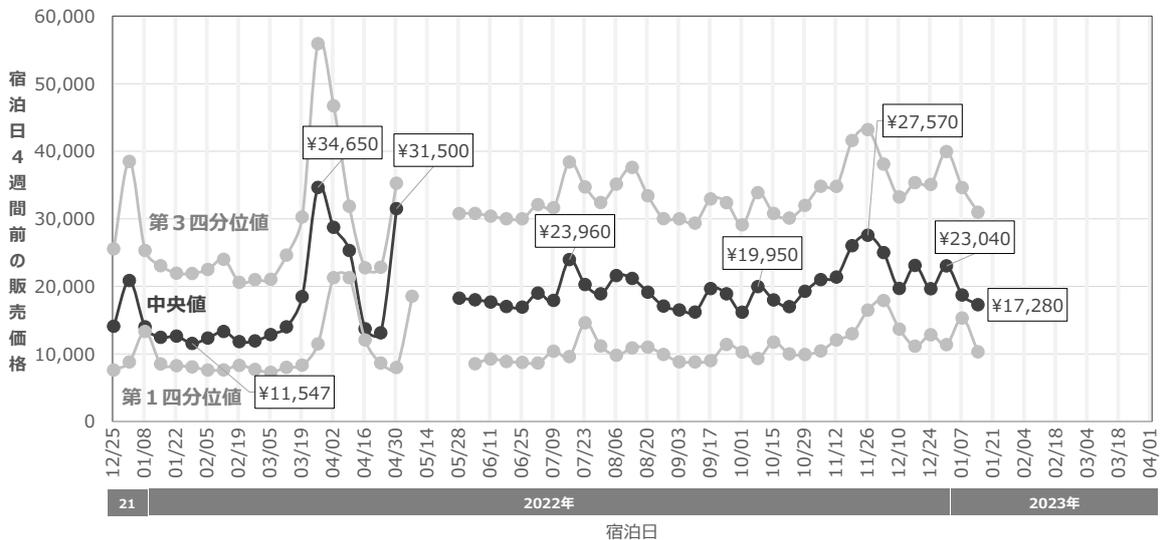
調査期間	概ね毎週火曜日に価格検索を実施 検索日の週末から、12 週先の週末までの 12 回分のデータを取得
調査対象	Booking.com およびトラベルコで京都市内のホテル・旅館・簡易宿所等の宿泊施設を検索したときに表示される価格（2022 年 11 月 5 日までは Booking.com、2022 年 11 月 26 日以降はトラベルコで集計している為、調査対象施設が異なる場合があり、比較する際には注意が必要）
検索条件	「1 室 2 名 食事なし、税抜価格、毎週土曜日にチェックインし翌日の日曜日にチェックアウト」の条件で表示される価格を集計。
集計条件	異常に高額な施設（外れ値）の影響を回避するため、平均値ではなく中央値を算出。 予約サイトに掲載されている価格は、最終的に購入されなかった客室の価格も含まれることになる。一方で、P17 の STR 社による平均客室単価（ADR）は、実際に購入された価格をもとに算出される。したがって、これらの値は単純に比較できるものではない。

第 3 四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 75% の位置にあたる施設の価格。

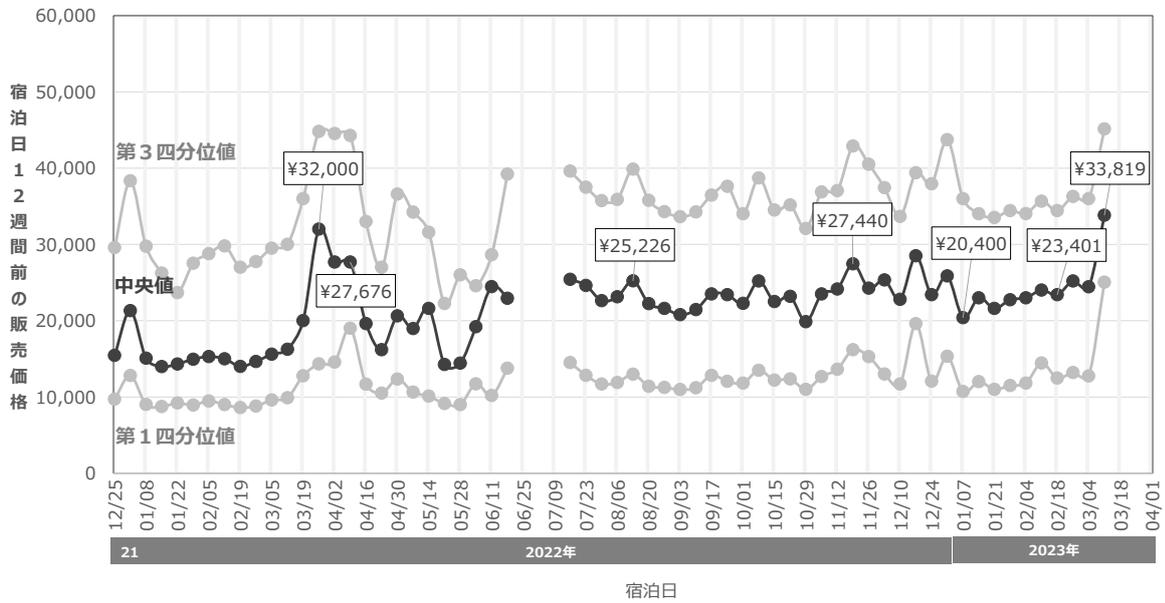
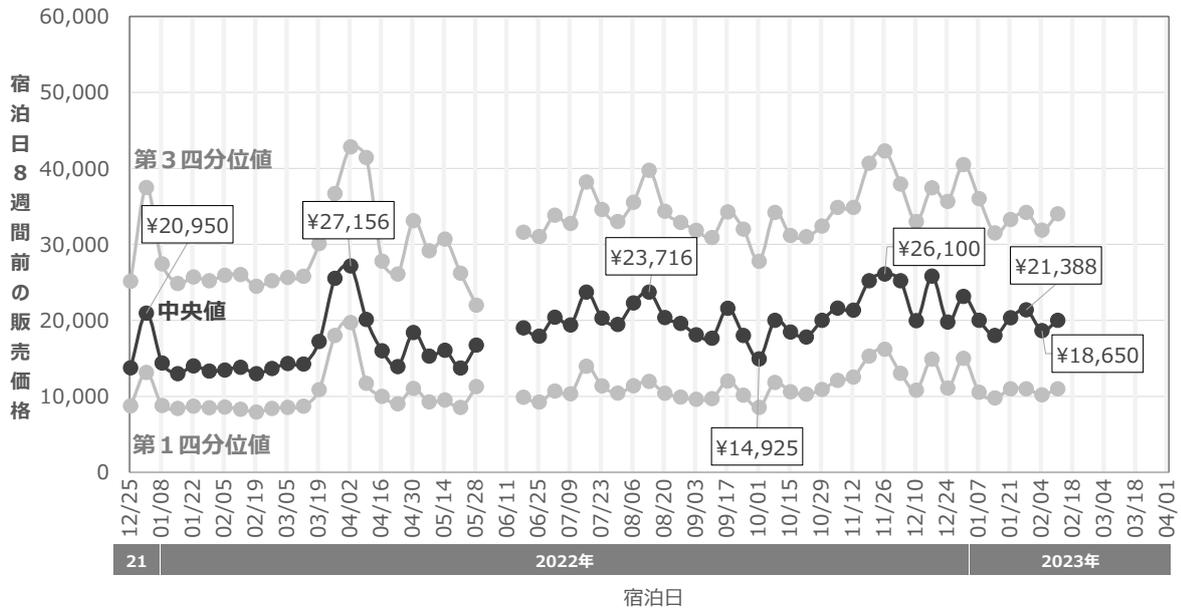
中央値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 50% の位置にあたる施設の価格。

第 1 四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 25% の位置にあたる施設の価格。

予約サイトにおける客室販売価格の推移



注) 2022 年 4 月 30 日～5 月 28 日の間は、調査対象となる WEB サイトの見直しを行っていたため、データが欠損しています。



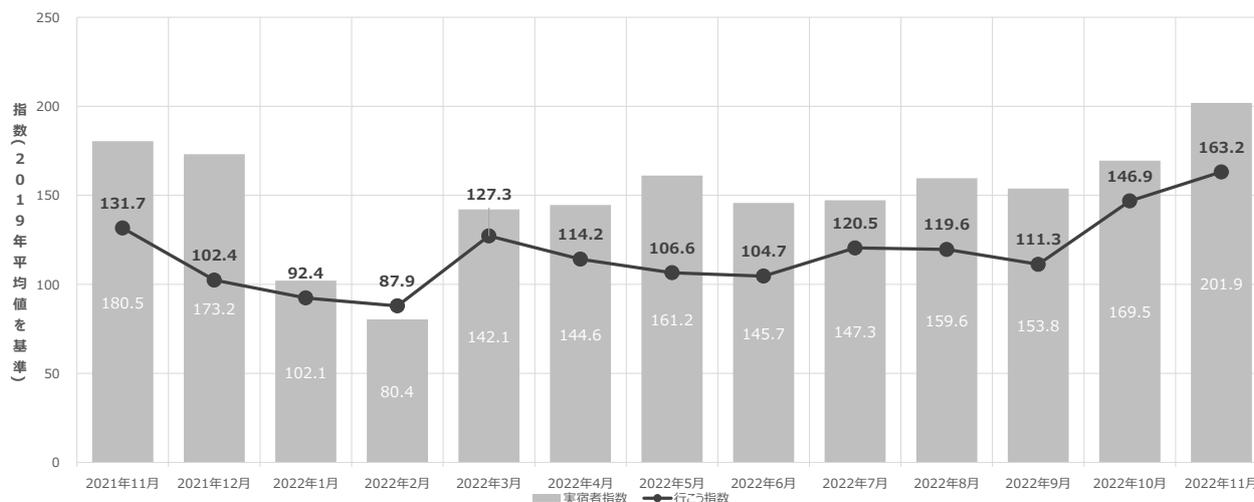
検索時に指定した宿泊日	検索したタイミング	価格の中央値 (円)	前年同時期の中央値 (円)	前年同期比
2022/12/24		19,634	14,080	△ 39.4%
2022/12/31	宿泊日の4週間前	23,040	20,850	△ 10.5%
2023/1/7		18,720	14,000	△ 33.7%
2023/1/14		17,280	12,450	△ 38.8%
2023/1/21	宿泊日の8週間前	20,350	14,000	△ 45.4%
2023/1/28		21,388	13,313	△ 60.7%
2023/2/4		18,650	13,468	△ 38.5%
2023/2/11		20,000	13,823	△ 44.7%
2023/2/18	宿泊日の12週間前	23,401	14,000	△ 67.2%
2023/2/25		25,201	14,650	△ 72.0%
2023/3/4		24,441	15,607	△ 56.6%
2023/3/11		33,819	16,259	△108.0%

(2) 京都観光意向指数（通称：行こう指数）

2-1. 日本人の訪問意向

- インターネット上における京都観光への訪問意向に関するデータをもとに集計した「行こう指数」の2022年11月の値は163.2（2019年の平均値を100とした場合）となり、前月（10月）の146.9からは16.3ポイント増、前年同月の131.7からは31.5ポイント増となった。9か月連続で2019年平均値を上回った。10月11日から「全国旅行支援」が開始された事に加え、紅葉シーズンとなり見頃やスポットの検索数が増えたものと考えられる。
- 市内主要ホテルにおける2022年11月の実宿泊客数の指数は201.9となり、過去4年間の最高値となった。3月に行動制限が解除されてから、事前に情報収集をしながら計画的に旅行が催行されているものと考えられる。

京都観光訪問意向指数（行こう指数）の推移



2022年11月に注目を集めた京都観光関連の主な番組・ニュース

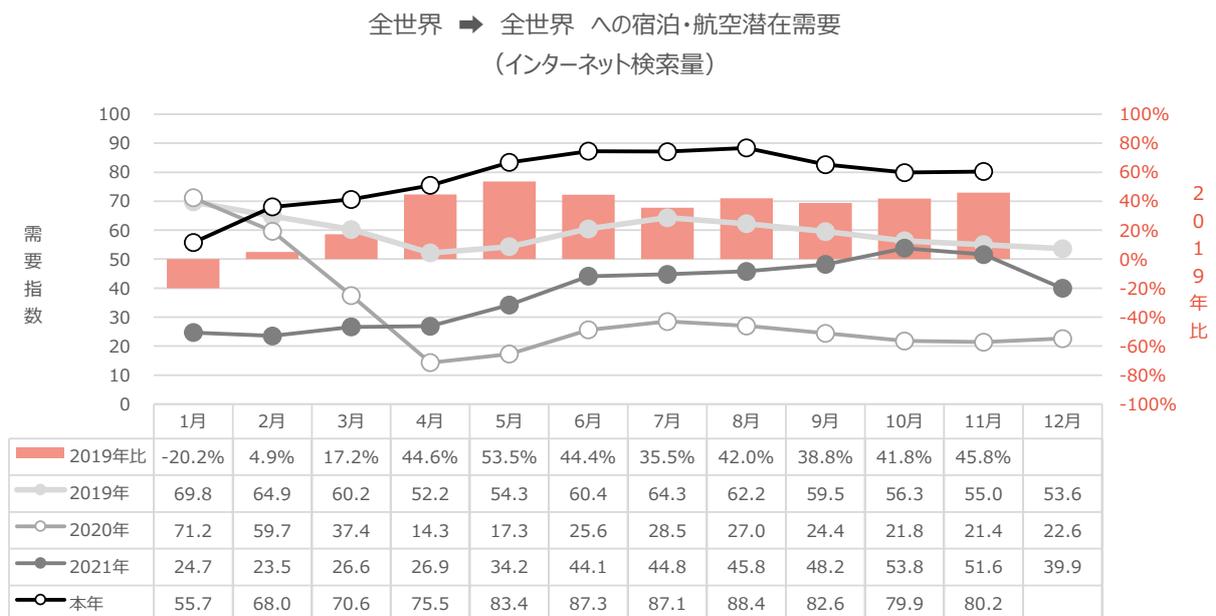
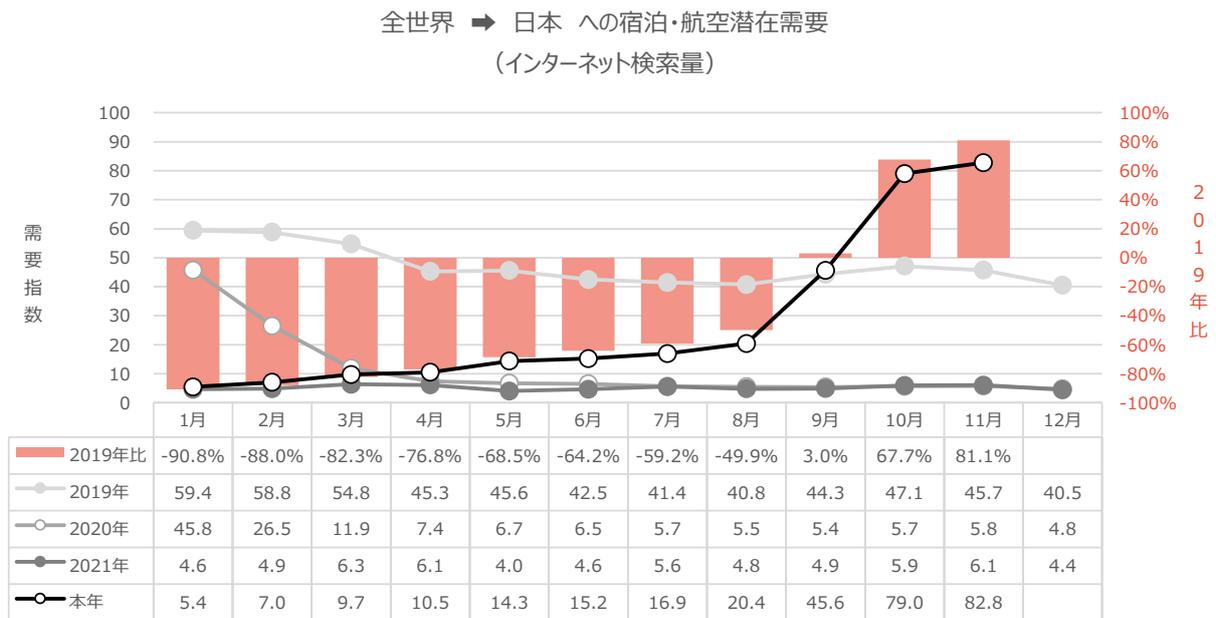
報道日時	媒体	局名・掲載媒体	番組名・記事名	内容、取材スポットなど
11/1 (火)	TV	フジテレビ	秋の京都を学べる SP	安井金比羅宮、平安神宮、清水寺など
11/1 (火)	TV	TBS テレビ	ラヴィット！	嵐山高雄パークウェイ
11/11 (金)	TV	フジテレビ	爆買い☆スター恩返し SP	貴船の料理店
11/13 (日)	TV/SNS	NHK	J1 残留をかけた戦い	京都サンガ
11/17 (木)	WEB	読売新聞	ミキが地元・京都の八坂神社で漫才奉納	八坂神社（国宝奉祝行事）
11/17 (木)	WEB	産経新聞	紅葉のシンメトリー色鮮やか	妙覚寺
11/26 (土)	TV	日本テレビ	ズームイン！！サタデー	天龍寺（朝観光）

出所) VLe ライナック社 「i-Catch」、「Destination Insights with Google」、

ヴァリューズ社 「dockpit」、当協会運営「京都観光 Navi」データを活用し独自に集計

2-2. 外国人の国際旅行意向

- 全世界のインターネットユーザーによる訪日旅行に関する航空および宿泊需要の検索動向を Google が指数化した結果によると、2022年11月は82.8となった。10月11日から入国制限がほぼ全面撤廃されたことや円安の影響をうけ、コロナ禍前の2019年同月を大幅に上回り、需要指数は高水準で推移している。
- 全世界における国際旅行に関する潜在需要（航空および宿泊需要の検索動向の指数）は、2022年11月は80.2となり、コロナ禍前の2019年同月比では45.8%増となった。世界的な入国制限緩和に合わせて、需要指数は非常に高い水準を維持している。



出所) Google Travel Trends をもとに京都市観光協会にて集計

(3) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移

- 2022年11月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、9軒開業、38軒廃業、差し引き29軒減少して、3,479軒となり、前年同月の3,659軒からは4.9%の減少となった。
- 総客室数（推計）は57,606室となり、前年同月の58,231室から1.1%の減少となった。前年同月比が減少に転じるのは、京都市が発表する統計を遡ることができる2014年以降では初めてである。

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2014年度 (2015.3月末)	542	460	1,002	-	106	-	26,260	2,929	29,189	-
2015年度 (2016.3月末)	532	696	1,228	△22.6%	255	29	26,297	3,489	29,786	△2.0%
2016年度 (2017.3月末)	550	1,493	2,043	△66.4%	838	23	27,753	6,134	33,887	△13.8%
2017年度 (2018.3月末)	575	2,291	2,866	△40.3%	909	86	29,172	9,247	38,419	△13.4%
2018年度 (2019.3月末)	624	2,990	3,614	△26.1%	919	171	33,608	12,539	46,147	△20.1%
2019年度 (2020.3月末)	656	3,337	3,993	△10.5%	663	284	36,243	17,228	53,471	△15.9%
2020年度 (2021.3月末)	679	3,104	3,783	▼5.3%	422	632	39,729	16,454	56,183	△5.1%
2021年度 (2022.3月末)	680	2,887	3,567	▼5.7%	203	419	42,065	16,551	58,616	△4.3%

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年同月 比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年同月 比
2021.11月末	685	2,974	3,659	▼5.7%	13	27	41,610	16,621	58,231	△4.9%
2021.12月末	682	2,943	3,625	▼6.2%	12	46	41,618	16,554	58,172	△4.4%
2022.1月末	685	2,926	3,611	▼5.3%	12	26	41,992	16,564	58,556	△5.5%
2022.2月末	688	2,908	3,596	▼5.4%	13	28	42,368	16,567	58,935	△5.5%
2022.3月末	680	2,887	3,567	▼5.7%	16	45	42,065	16,551	58,616	△4.3%
2022.4月末	676	2,889	3,565	▼5.8%	15	17	41,818	16,562	58,380	△2.9%
2022.5月末	673	2,867	3,540	▼5.9%	7	32	41,632	16,436	58,068	△1.6%
2022.6月末	672	2,851	3,523	▼5.9%	8	25	41,570	16,345	57,915	△1.0%
2022.7月末	673	2,845	3,518	▼5.7%	12	17	41,632	16,310	57,942	△0.7%
2022.8月末	675	2,834	3,509	▼5.4%	9	18	41,756	16,247	58,003	△0.6%
2022.9月末	676	2,824	3,500	▼5.1%	9	18	41,818	16,190	58,007	△0.1%
2022.10月末	677	2,831	3,508	▼4.5%	17	9	41,879	16,230	58,109	△0.3%
2022.11月末	671	2,808	3,479	▼4.9%	9	38	41,508	16,098	57,606	▼1.1%

出所)京都市 保健福祉局「旅館業法に基づく許可施設数の推移」をもとに集計

注)客室数は年度末(毎年3月末)時点しか発表されないため、それ以外の月の数値は、年度末の施設あたり客室数をもとに補完推計して算出している。

(4) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況

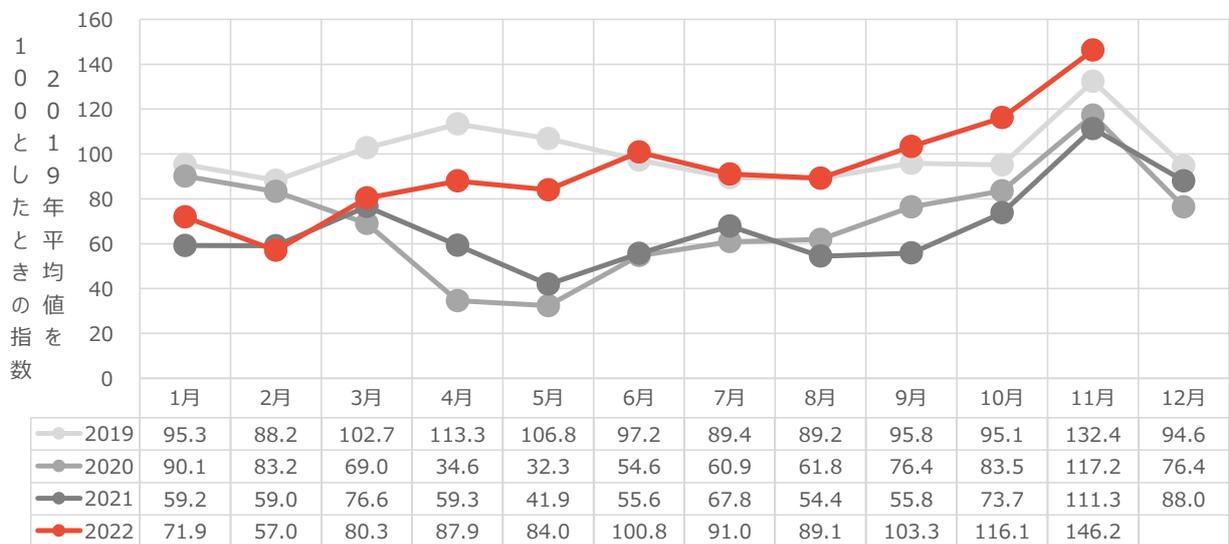
4-1. 市内の日本人来街者数の実績

京都市内の主要地点 39 箇所における日本人来街者数※を、携帯電話の位置情報をもとにしたビッグデータから以下の通り集計した。

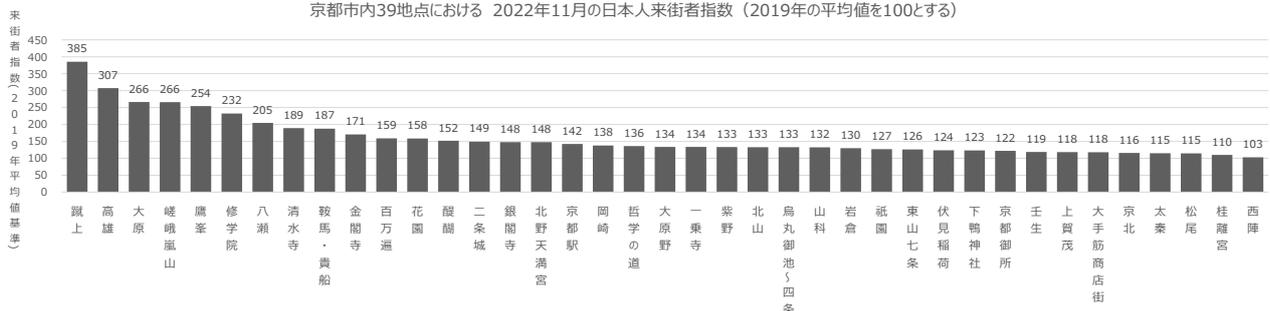
- 2022 年 11 月の来街者指数は 146.2（2019 年の平均値を 100 とした場合）となり、前年同月の 111.3 を 34.9 ポイント上回り、過去 4 年間での最高値を更新した。コロナ禍前である 2019 年同月を 3 か月連続で上回っている。
- 地点別の指数をみると、全てのエリアで来街者数が 2019 年年間平均値を上回った。特に、紅葉の名所である南禅寺や永観堂を含む蹴上エリアや高雄エリアなどが高水準となった。

※ 測定の対象とする地域内の居住者や、通勤等の目的で頻繁に来訪・滞在する人以外で、当該地域を訪れる人の数

京都市内39地点における日本人来街者指数の推移



京都市内39地点における 2022年11月の日本人来街者指数（2019年の平均値を100とする）



出所) KDDI 社のスマートフォン位置情報 (KDDI Location Analyzer) をもとに集計

2022 年 6 月分から上記システムの集計精度が高まった為、過去のデータとの単純比較はできない。

4-2. 年代別の分布

- 京都駅周辺の来街者数の前年同月比は、ワクチン接種等により感染不安・重症化不安が和らいだことや「全国旅行支援」があったため、全年代で増加した。
- 年代別構成比での60代以上が占める割合は34.5%と、2か月連続で30%を上回る水準となった。

京都駅周辺の来街者数の前年同月比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2021	11	▼ 8.5%	▼ 6.6%	▼ 4.6%	▼ 5.8%	▼ 1.1%	△ 1.1%
2021	12	△ 20.9%	△ 36.2%	△ 28.8%	△ 24.5%	△ 25.6%	△ 35.2%
2022	1	△ 34.0%	△ 43.1%	△ 39.5%	△ 36.4%	△ 39.6%	△ 46.3%
2022	2	△ 11.4%	△ 5.6%	△ 0.8%	△ 2.3%	△ 1.9%	▼ 2.6%
2022	3	△ 11.3%	△ 7.2%	△ 10.0%	△ 7.6%	△ 11.1%	△ 11.7%
2022	4	△ 30.3%	△ 37.3%	△ 39.3%	△ 38.7%	△ 55.3%	△ 76.1%
2022	5	△ 103.3%	△ 120.7%	△ 124.7%	△ 115.9%	△ 145.6%	△ 195.8%
2022	6	△ 105.4%	△ 115.6%	△ 97.8%	△ 100.1%	△ 114.9%	△ 143.6%
2022	7	△ 51.2%	△ 53.6%	△ 51.9%	△ 50.5%	△ 58.3%	△ 47.2%
2022	8	△ 79.8%	△ 77.4%	△ 82.1%	△ 75.9%	△ 70.4%	△ 68.8%
2022	9	△ 127.0%	△ 110.8%	△ 105.8%	△ 98.3%	△ 101.7%	△ 103.1%
2022	10	△ 74.4%	△ 68.0%	△ 61.0%	△ 57.5%	△ 61.2%	△ 68.9%
2022	11	△ 42.8%	△ 41.0%	△ 33.4%	△ 31.8%	△ 31.8%	△ 37.2%

京都駅周辺の来街者の年代別構成比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2021	11	18.7%	15.1%	16.0%	15.1%	17.4%	17.6%
2021	12	21.0%	17.6%	17.7%	15.1%	14.8%	13.8%
2022	1	22.3%	18.3%	18.7%	15.7%	13.7%	11.3%
2022	2	23.0%	16.8%	18.0%	16.2%	14.4%	11.6%
2022	3	21.1%	15.4%	18.2%	16.0%	15.2%	14.1%
2022	4	19.0%	15.9%	17.3%	15.3%	16.6%	15.8%
2022	5	20.1%	17.1%	17.1%	15.0%	16.0%	14.6%
2022	6	19.9%	17.3%	16.9%	15.0%	15.9%	15.1%
2022	7	21.9%	17.6%	17.9%	15.3%	15.1%	12.2%
2022	8	24.5%	17.8%	19.3%	15.1%	13.1%	10.2%
2022	9	24.0%	17.6%	17.1%	14.7%	14.2%	12.3%
2022	10	20.7%	16.6%	16.5%	14.9%	15.6%	15.7%
2022	11	19.6%	15.6%	15.7%	14.6%	16.8%	17.7%

出所) KDDI 社のスマートフォン位置情報 (KDDI Location Analyzer) をもとに集計

(5) 京都市内4百貨店における免税売上げ

	2022年11月	2021年11月	前年同月比	2019年11月	2019年同月比
免税件数	11,671件	189件	△ 6,075.1%	31,459件	▼ 62.9%
免税単価	8万3586円	49万5,550円	▼ 83.1%	5万0,851円	△ 64.4%
免税売上額	9億7,553万円	9,366万円	△ 941.6%	15億9,972万円	▼ 39.0%
総売上額	197億9,459万円	185億8,248万円	△ 6.5%	199億9,025万円	▼ 1.0%
免税売上割合	4.9%	0.5%	△ 4.4pts	8.0%	▼ 3.1pts

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上げ等も含まれる（税別）

	免税売上（万円）					免税割合					
	当年	前年	前年比	2019年	2019年比	当年	前年	前年比	2019年	2019年比	
2021年	11月	9,366	1,729	441.6%	159,972	-94.1%	0.5%	0.1%	△ 0.4	8.0%	▼ 7.5
	12月	10,896	6,210	75.5%	142,600	-92.4%	0.5%	0.3%	△ 0.2	5.5%	▼ 5.0
2022年	1月	12,341	10,677	15.6%	122,300	-89.9%	0.8%	0.8%	△ 0.0	6.2%	▼ 5.4
	2月	9,574	9,950	-3.8%	167,735	-94.3%	0.9%	1.0%	▼ 0.1	9.9%	▼ 9.0
	3月	9,375	9,965	-5.9%	172,657	-94.6%	0.6%	0.6%	△ 0.0	8.3%	▼ 7.7
	4月	10,638	6,159	72.7%	199,274	-94.7%	0.7%	0.5%	△ 0.2	10.9%	▼ 10.2
	5月	11,245	13,950	-19.4%	161,464	-93.0%	0.7%	1.7%	▼ 1.0	9.0%	▼ 8.3
	6月	13,799	11,154	23.7%	146,483	-90.6%	0.8%	0.8%	△ 0.0	7.8%	▼ 7.0
	7月	20,561	5,773	256.2%	142,213	-85.5%	1.2%	0.4%	△ 0.8	7.6%	▼ 6.4
	8月	17,404	6,754	157.7%	124,408	-86.0%	1.2%	0.6%	△ 0.6	7.3%	▼ 6.1
	9月	17,714	7,906	124.1%	118,425	-85.0%	1.1%	0.6%	△ 0.5	5.7%	▼ 4.6
	10月	54,325	11,603	368.2%	135,393	-59.9%	3.1%	0.7%	△ 2.4	8.5%	▼ 5.4
	11月	97,553	9,366	941.6%	159,972	-39.0%	4.9%	0.5%	△ 4.4	8.0%	▼ 3.1

免税売上額に占める国・地域別割合（構成比）

順位	2022年11月				2021年11月	
	国・地域名	構成比	前年同月比	2019年同月比	国・地域名	構成比
1	台湾	24.2%	▼ 24.1ポイント	▼ 20.7ポイント	中国	93.9%
2	香港	18.0%	△ 18.0ポイント	△ 15.3ポイント	フランス	0.19%
3	中国	15.8%	△ 78.1ポイント	△ 66.4ポイント	アメリカ	0.16%
4	アメリカ	8.74%	△ 8.58ポイント	△ 7.17ポイント	韓国	0.14%
5	韓国	7.94%	△ 7.80ポイント	△ 6.17ポイント	スイス	0.06%

注) 2年以上外国に滞在する日本人が一時帰国し、入国後6か月未満である場合も免税対象となる。これに該当する免税売上げは国・地域別構成比の計算に含めているが、ランキングからは除外している。

(6) 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル 2 階

相談者数 (人)	2022年 11月	2022年 10月	前月比	2021年 11月	前年 同月比	2019年 11月	2019年 同月比
日本人	32,470	26,429	△ 22.9%	27,906	△16.4%	41,061	▼20.9%
外国人	8,381	3,850	△117.7%	675	△1,141.6%	27,269	▼69.3%
合計	40,851	30,279	△ 34.9%	28,581	△ 42.9%	68,330	▼40.2%
外国人 比率	20.5%	12.7%	△7.8pts	2.4%	△18.1pts	39.9%	▼19.4pts
来所者数 (自動カウン ト機による)	87,559	66,485	△ 31.7%	63,904	△ 37.0%	129,609	▼32.4%

外国人相談者における国・地域別割合

順位	2022年11月		2022年10月		2021年11月		2019年11月	
	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比
1	韓国	16.4%	アメリカ	14.4%	アメリカ	25.5%	中国	17.7%
2	アメリカ	11.0%	フランス	11.2%	ベトナム	17.3%	アメリカ	11.1%
3	シンガポール	9.8%	韓国	10.7%	中国	12.7%	台湾	7.4%
4	台湾	9.8%	ドイツ	8.3%	インド	12.7%	オーストラリア	6.2%
5	香港	8.0%	香港	6.4%	フィリピン	6.4%	シンガポール	5.3%

(7) 為替レートの推移

月平均Telegraphic Transfer Buying (「外貨」を「円」に交換するときのレート)

数値が小さくなるほど円高となり、外国人が訪日旅行をする際不利となる

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン	
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1
	12月	108.2	119.8	139.0	73.1	13.6	0.272	15.3	3.54	9.1
2020	1月	108.4	119.9	138.9	72.9	13.6	0.272	15.5	3.51	9.2
	2月	109.0	118.5	138.7	71.4	13.7	0.272	15.4	3.44	9.0
	3月	106.4	117.5	129.2	65.0	13.4	0.278	15.0	3.28	8.6
	4月	107.0	115.9	130.0	65.8	13.5	0.276	15.0	3.23	8.6
	5月	106.4	115.5	127.8	68.1	13.4	0.277	14.8	3.27	8.6
	6月	106.6	119.6	130.8	72.1	13.5	0.274	14.9	3.37	8.7
	7月	105.8	120.7	131.1	73.0	13.4	0.273	14.9	3.33	8.7
	8月	105.1	123.9	135.3	74.3	13.3	0.275	15.0	3.32	8.8
	9月	104.8	123.2	133.3	74.5	13.2	0.274	15.2	3.29	8.8
	10月	104.3	122.4	132.6	73.0	13.2	0.270	15.4	3.29	9.0
	11月	103.4	122.0	133.9	73.9	13.0	0.271	15.5	3.35	9.2
	12月	102.8	124.7	135.4	76.0	13.0	0.269	15.6	3.37	9.3
2021	1月	102.7	124.7	137.5	78.1	12.9	0.268	15.7	3.38	9.3
	2月	104.4	125.9	141.9	79.6	13.2	0.263	16.1	3.44	9.3
	3月	107.6	127.9	146.6	81.8	13.6	0.257	16.4	3.45	9.4
	4月	108.1	128.9	147.0	82.0	13.6	0.257	16.4	3.41	9.6
	5月	108.2	131.2	150.0	82.8	13.6	0.250	16.7	3.41	9.5
	6月	109.1	131.3	150.6	82.2	13.8	0.250	16.9	3.43	9.6
	7月	109.3	128.9	148.4	80.0	13.8	0.252	16.7	3.30	9.5
	8月	108.9	127.8	147.6	78.2	13.7	0.251	16.7	3.24	9.3
	9月	109.2	128.3	147.5	78.7	13.7	0.249	16.8	3.26	9.2
	10月	112.1	129.7	150.8	81.6	14.1	0.245	17.3	3.30	9.4
	11月	113.1	128.8	149.6	81.5	14.2	0.242	17.6	3.37	9.5
	12月	112.9	127.2	147.4	79.4	14.2	0.242	17.6	3.32	9.4
2022	1月	113.9	128.5	151.7	80.5	14.3	0.239	17.8	3.38	9.4
	2月	114.2	129.1	151.9	80.4	14.3	0.239	17.9	3.45	9.4
	3月	117.5	129.1	152.2	85.3	14.7	0.238	18.4	3.49	9.5
	4月	125.0	135.0	159.5	91.1	15.6	0.228	19.3	3.66	10.0
	5月	127.8	134.8	156.2	88.6	16.0	0.220	18.8	3.66	10.0
	6月	132.9	140.1	161.1	92.1	16.6	0.219	19.7	3.76	10.3
	7月	135.8	138.0	160.2	91.8	17.0	0.216	20.0	3.69	10.3
	8月	134.2	135.3	158.0	92.0	16.8	0.220	19.6	3.69	10.1
	9月	142.1	140.2	158.2	93.7	17.8	0.216	20.1	3.79	10.1
	10月	146.2	143.4	162.4	91.7	18.3	0.215	20.2	3.80	10.1
	11月	141.5	143.7	163.1	91.9	17.8	0.219	19.5	3.83	10.3

※韓国ウォンは100ウォンあたりのレート

出所) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 外国為替相場

宿泊状況調査結果詳細 (2022年11月)

(公社)京都市観光協会
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2022年(11月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比
北米	アメリカ	10901	525	1976.4%	20.9%	46.6%	32,589	1,287	2432.2%	22.3%	43.7%	16,149	726	2124.4%	20.7%	40.0%
	カナダ	1,017	20	4985.0%	1.9%	1.8%	3,288	68	4735.3%	2.2%	2.3%	1,689	34	4867.6%	2.2%	1.9%
	北米小計	11,918	545	2086.8%	22.8%	48.4%	35,877	1,355	2547.7%	24.5%	46.0%	17,838	760	2247.1%	22.9%	41.9%
中南米	メキシコ	152	4	3700.0%	0.3%	0.4%	403	12	3258.3%	0.3%	0.4%	193	6	3116.7%	0.2%	0.3%
	ブラジル	116	10	1060.0%	0.2%	0.9%	354	22	1509.1%	0.2%	0.7%	171	14	1121.4%	0.2%	0.8%
	その他	150	7	2042.9%	0.3%	0.6%	675	48	1306.3%	0.5%	1.6%	366	31	1080.6%	0.5%	1.7%
	南米小計	418	21	1890.5%	0.8%	1.9%	1,432	82	1646.3%	1.0%	2.8%	730	51	1331.4%	0.9%	2.8%
ヨーロッパ	イギリス	1,458	20	7190.0%	2.8%	1.8%	4,378	20	21790.0%	3.0%	0.7%	2,608	13	19961.5%	3.3%	0.7%
	フランス	1,093	16	6731.3%	2.1%	1.4%	6,265	44	14138.6%	4.3%	1.5%	3,476	28	12314.3%	4.5%	1.5%
	ドイツ	724	6	11966.7%	1.4%	0.5%	2,716	21	12833.3%	1.9%	0.7%	1,714	15	11326.7%	2.2%	0.8%
	イタリア	728	9	7988.9%	1.4%	0.8%	2,643	39	6676.9%	1.8%	1.3%	1,520	34	4370.6%	1.9%	1.9%
	オランダ	228	1	22700.0%	0.4%	0.1%	661	2	32950.0%	0.5%	0.1%	400	2	19900.0%	0.5%	0.1%
	スペイン	820	3	27233.3%	1.6%	0.3%	2,357	9	26088.9%	1.6%	0.3%	1,334	8	16575.0%	1.7%	0.4%
	スイス	284	0	100.0%	0.5%	N/A	718	9	7877.8%	0.5%	0.3%	451	3	14933.3%	0.6%	0.2%
	スウェーデン	101	7	1342.9%	0.2%	0.6%	428	16	2575.0%	0.3%	0.5%	254	7	3528.6%	0.3%	0.4%
	フィンランド	52	2	2500.0%	0.1%	0.2%	169	4	4125.0%	0.1%	0.1%	99	2	4850.0%	0.1%	0.1%
	ロシア	171	7	2342.9%	0.3%	0.6%	652	17	3735.3%	0.4%	0.6%	334	7	4671.4%	0.4%	0.4%
	その他	1,496	23	6404.3%	2.9%	2.0%	4,036	79	5008.9%	2.8%	2.7%	2,459	49	4918.4%	3.2%	2.7%
ヨーロッパ小計	7,155	94	7511.7%	13.7%	8.3%	25,023	260	9524.2%	17.1%	8.8%	14,649	168	8619.6%	18.8%	9.3%	
東アジア	中国	3,150	84	3650.0%	6.0%	7.5%	7,997	165	4746.7%	5.5%	5.6%	4,393	109	3930.3%	5.6%	6.0%
	台湾	5,728	40	14220.0%	11.0%	3.5%	14,727	59	24861.0%	10.1%	2.0%	7,767	49	15751.0%	10.0%	2.7%
	香港	3,915	10	39050.0%	7.5%	0.9%	9,934	35	28282.9%	6.8%	1.2%	5,159	23	22330.4%	6.6%	1.3%
	韓国	6,243	20	31115.0%	12.0%	1.8%	15,272	40	38080.0%	10.4%	1.4%	8,196	26	31423.1%	10.5%	1.4%
	東アジア小計	19,036	154	12261.0%	36.5%	13.7%	47,930	299	15930.1%	32.8%	10.1%	25,515	207	12226.1%	32.7%	11.4%
東南アジア	フィリピン	322	12	2583.3%	0.6%	1.1%	951	16	5843.8%	0.7%	0.5%	512	7	7214.3%	0.7%	0.4%
	ベトナム	339	30	1030.0%	0.6%	2.7%	601	34	1667.6%	0.4%	1.2%	333	16	1981.3%	0.4%	0.9%
	タイ	1,675	12	13858.3%	3.2%	1.1%	3,329	54	6064.8%	2.3%	1.8%	1,717	27	6259.3%	2.2%	1.5%
	インドネシア	524	26	1915.4%	1.0%	2.3%	1,277	35	3548.6%	0.9%	1.2%	677	9	7422.2%	0.9%	0.5%
	マレーシア	876	5	17420.0%	1.7%	0.4%	2,325	9	25733.3%	1.6%	0.3%	1,168	7	16585.7%	1.5%	0.4%
	シンガポール	3,544	29	12120.7%	6.8%	2.6%	10,022	98	10126.5%	6.9%	3.3%	4,986	37	13375.7%	6.4%	2.0%
	インド	214	15	1326.7%	0.4%	1.3%	627	31	1922.6%	0.4%	1.1%	385	18	2038.9%	0.5%	1.0%
	その他	346	84	311.9%	0.7%	7.5%	997	128	678.9%	0.7%	4.3%	529	52	917.3%	0.7%	2.9%
	東南アジア小計	7,840	213	3580.8%	15.0%	18.9%	20,129	405	4870.1%	13.8%	13.7%	10,307	173	5857.8%	13.2%	9.5%
中東	イスラエル	1,454	1	145300.0%	2.8%	0.1%	3,464	2	173100.0%	2.4%	0.1%	1,979	2	9850.0%	2.5%	0.1%
	カタール	0	0	0.0%	N/A	N/A	0	0	0.0%	N/A	N/A	0	0	0.0%	N/A	N/A
	UAE	93	0	100.0%	0.2%	N/A	342	0	100.0%	0.2%	N/A	163	0	100.0%	0.2%	N/A
	サウジアラビア	55	4	1275.0%	0.1%	0.4%	214	6	3466.7%	0.1%	0.2%	110	5	2100.0%	0.1%	0.3%
	トルコ	87	2	4250.0%	0.2%	0.2%	274	2	13600.0%	0.2%	0.1%	143	1	14200.0%	0.2%	0.1%
	その他	228	0	100.0%	0.4%	N/A	664	2	33100.0%	0.5%	0.1%	396	1	39500.0%	0.5%	0.1%
	中東小計	1,917	7	27285.7%	3.7%	0.6%	4,958	12	41216.7%	3.4%	0.4%	2,791	9	30911.1%	3.6%	0.5%
オセアニア	オーストラリア	2,024	13	15469.2%	3.9%	1.2%	5,883	19	30863.2%	4.0%	0.6%	3,243	11	29381.8%	4.2%	0.6%
	ニュージーランド	123	0	100.0%	0.2%	N/A	455	26	1650.0%	0.3%	0.9%	266	13	1946.2%	0.3%	0.7%
	その他	11	2	450.0%	0.0%	0.2%	29	8	262.5%	0.0%	0.3%	16	7	128.6%	0.0%	0.4%
	オセアニア小計	2,158	15	14286.7%	4.1%	1.3%	6,367	53	11913.2%	4.4%	1.8%	3,525	31	11271.0%	4.5%	1.7%
アフリカ	77	2	3750.0%	0.1%	0.2%	331	26	1173.1%	0.2%	0.9%	255	26	880.8%	0.3%	1.4%	
海外その他	1,701	76	2138.2%	3.3%	6.7%	4,235	455	830.8%	2.9%	15.4%	2,407	388	520.4%	3.1%	21.4%	
外国人合計	52,220	1,127	4533.5%			146,282	2,947	4863.8%			78,017	1,813	4203.2%			
日本人合計	368,178	302,379	21.8%			653,643	536,254	21.9%			379,229	318,567	19.0%			
合計	420,398	303,506	38.5%			799,925	539,201	48.4%			457,246	320,380	42.7%			

	2022	2021	伸率・前年同月差
販売可能客室数	569,966室	543,629室	4.8%
稼働客室数	457,246室	320,380室	42.7%
稼働率	80.2%	58.9%	21.3ポイント増
外国人比率 (延べ人数ベース)	18.3%	0.5%	17.8ポイント増
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	17.1%	0.6%	16.5ポイント増

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

(1)調査時期:2022年11月1日~2022年11月30日
(2)対象施設数:112ホテル(19,039室)

宿泊状況調査結果詳細 (2022年1月～11月累計)

(公社)京都市観光協会
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2022年(1月～11月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比
北米	アメリカ	25,221	2,640	855.4%	23.6%	40.1%	77,988	6,529	1094.5%	72.8%	99.2%	39,946	3,424	1066.6%	37.3%	52.0%
	カナダ	2,165	105	1967.7%	2.0%	1.6%	6,996	214	3172.5%	6.5%	3.2%	3,874	118	3183.1%	3.6%	1.8%
	北米小計	27,387	2,745	897.9%	25.6%	41.7%	84,984	6,743	1160.4%	79.4%	102.4%	43,820	3,542	1137.2%	40.9%	53.8%
中南米	メキシコ	529	31	1604.4%	0.5%	0.5%	1,581	49	3126.5%	1.5%	0.7%	822	23	3473.9%	0.8%	0.3%
	ブラジル	470	33	1323.3%	0.4%	0.5%	1,485	80	1755.9%	1.4%	1.2%	814	54	1407.4%	0.8%	0.8%
	その他	427	38	1024.2%	0.4%	0.6%	1,688	153	1003.3%	1.6%	2.3%	969	102	850.0%	0.9%	1.5%
	南米小計	1,425	102	1297.3%	1.3%	1.5%	4,754	282	1585.7%	4.4%	4.3%	2,605	179	1355.3%	2.4%	2.7%
ヨーロッパ	イギリス	3,508	120	2826.1%	3.3%	1.8%	10,015	262	3722.7%	9.4%	4.0%	6,280	151	4058.9%	5.9%	2.3%
	フランス	3,628	199	1721.4%	3.4%	3.0%	14,653	429	3315.6%	13.7%	6.5%	8,509	324	2526.2%	7.9%	4.9%
	ドイツ	2,759	52	5205.4%	2.6%	0.8%	9,028	264	3317.1%	8.4%	4.0%	6,075	181	3256.4%	5.7%	2.8%
	イタリア	1,852	45	4056.6%	1.7%	0.7%	6,250	98	6277.8%	5.8%	1.5%	3,742	78	4697.4%	3.5%	1.2%
	オランダ	667	36	1753.5%	0.6%	0.5%	2,001	64	3051.2%	1.9%	1.0%	1,306	52	2411.5%	1.2%	0.8%
	スペイン	1,631	9	18027.3%	1.5%	0.1%	4,979	40	12347.5%	4.7%	0.6%	2,890	26	11015.4%	2.7%	0.4%
	スイス	944	9	10387.8%	0.9%	0.1%	2,824	57	4854.9%	2.6%	0.9%	1,709	47	3536.2%	1.6%	0.7%
	スウェーデン	456	10	4458.8%	0.4%	0.2%	1,213	22	5413.6%	1.1%	0.3%	791	13	5984.6%	0.7%	0.2%
	フィンランド	188	4	4600.0%	0.2%	0.1%	623	11	5563.6%	0.6%	0.2%	425	9	4622.2%	0.4%	0.1%
	ロシア	478	42	1038.5%	0.4%	0.6%	1,419	84	1589.3%	1.3%	1.3%	746	59	1164.4%	0.7%	0.9%
	その他	4,076	145	2703.9%	3.8%	2.2%	12,309	899	1269.2%	11.5%	13.7%	7,652	818	835.5%	7.1%	12.4%
ヨーロッパ小計	20,188	671	2908.6%	18.9%	10.2%	65,314	2,230	2829.3%	61.0%	33.9%	40,125	1,758	2182.4%	37.5%	26.7%	
東アジア	中国	6,643	846	685.7%	6.2%	12.8%	17,403	2,104	727.2%	16.3%	32.0%	10,578	1,718	515.7%	9.9%	26.1%
	台湾	7,819	265	2848.3%	7.3%	4.0%	19,664	430	4472.9%	18.4%	6.5%	10,750	268	3911.2%	10.0%	4.1%
	香港	6,036	62	9635.0%	5.6%	0.9%	15,092	124	12071.2%	14.1%	1.9%	7,979	96	8211.5%	7.5%	1.5%
	韓国	10,089	214	4623.4%	9.4%	3.2%	24,351	416	5753.6%	22.7%	6.3%	14,148	270	5140.0%	13.2%	4.1%
	東アジア小計	30,587	1,386	2106.4%	28.6%	21.1%	76,510	3,074	2389.1%	71.5%	46.7%	43,455	2,352	1747.6%	40.6%	35.7%
東南アジア	フィリピン	634	57	1012.7%	0.6%	0.9%	1,955	126	1451.6%	1.8%	1.9%	1,036	53	1854.7%	1.0%	0.8%
	ベトナム	674	114	491.4%	0.6%	1.7%	1,203	153	686.3%	1.1%	2.3%	731	89	721.3%	0.7%	1.4%
	タイ	3,120	69	4454.7%	2.9%	1.0%	6,486	243	2569.0%	6.1%	3.7%	3,441	155	2120.0%	3.2%	2.4%
	インドネシア	1,251	57	2094.7%	1.2%	0.9%	3,060	113	2607.6%	2.9%	1.7%	1,566	58	2600.0%	1.5%	0.9%
	マレーシア	1,691	27	6164.2%	1.6%	0.4%	4,130	92	4389.3%	3.9%	1.4%	2,222	56	3867.9%	2.1%	0.9%
	シンガポール	5,822	92	6237.0%	5.4%	1.4%	15,392	446	3351.1%	14.4%	6.8%	8,098	224	3515.2%	7.6%	3.4%
	インド	604	64	844.0%	0.6%	1.0%	1,859	149	1147.5%	1.7%	2.3%	1,259	88	1330.7%	1.2%	1.3%
	その他	1,025	391	162.2%	1.0%	5.9%	2,415	567	325.9%	2.3%	8.6%	1,481	391	278.8%	1.4%	5.9%
	東南アジア小計	14,822	870	1603.4%	13.8%	13.2%	36,499	1,889	1832.2%	34.1%	28.7%	19,834	1,114	1680.4%	18.5%	16.9%
中東	イスラエル	2,504	1	250340.0%	2.3%	0.0%	5,505	6	91650.0%	5.1%	0.1%	3,221	6	53583.3%	3.0%	0.1%
	カタール	11	2	433.4%	0.0%	0.0%	85	10	750.0%	0.1%	0.2%	31	10	210.0%	0.0%	0.2%
	UAE	243	11	2106.1%	0.2%	0.2%	629	10	6190.0%	0.6%	0.2%	344	10	3340.0%	0.3%	0.2%
	サウジアラビア	85	4	2025.0%	0.1%	0.1%	288	6	4700.0%	0.3%	0.1%	149	5	2880.0%	0.1%	0.1%
	トルコ	114	8	1325.0%	0.1%	0.1%	449	21	2038.1%	0.4%	0.3%	289	20	1345.0%	0.3%	0.3%
	その他	710	25	2738.9%	0.7%	0.4%	1,706	128	1232.8%	1.6%	1.9%	1,195	120	895.8%	1.1%	1.8%
	中東小計	3,666	51	7089.1%	3.4%	0.8%	8,662	181	4685.6%	8.1%	2.8%	5,229	171	2957.9%	4.9%	2.6%
オセアニア	オーストラリア	3,699	79	4578.1%	3.5%	1.2%	10,551	254	4053.8%	9.9%	3.9%	6,175	135	4474.1%	5.8%	2.1%
	ニュージーランド	339	25	1255.0%	0.3%	0.4%	1,046	54	1837.0%	1.0%	0.8%	607	30	1923.3%	0.6%	0.5%
	その他	42	10	320.0%	0.0%	0.2%	163	44	270.5%	0.2%	0.7%	87	35	148.6%	0.1%	0.5%
	オセアニア小計	4,080	114	3476.6%	3.8%	1.7%	11,760	352	3240.8%	11.0%	5.3%	6,869	200	3334.5%	6.4%	3.0%
アフリカ	238	16	1386.4%	0.2%	0.2%	807	108	646.8%	0.8%	1.6%	663	106	525.5%	0.6%	1.6%	
海外その他	4,678	627	646.3%	4.4%	9.5%	10,502	1,517	592.3%	9.8%	23.0%	6,865	3,148	118.1%	6.4%	47.8%	
外国人合計	107,071	6,582	1526.8%			299,791	16,375	1730.8%			169,465	12,570	1248.2%			
日本人合計	2,932,870	1,480,468	98.1%			4,820,559	2,441,288	97.5%			2,939,111	1,557,552	88.7%			
合計	3,039,941	1,487,049	104.4%			5,120,350	2,457,663	108.3%			3,108,576	1,570,122	98.0%			

	2022	2021	伸率・前年同月差
販売可能客室数	6,152,770室	5,669,352室	8.5%
稼働客室数	3,108,576室	1,570,122室	98.0%
稼働率	50.5%	27.7%	22.8ポイント増
外国人比率 (延べ人数ベース)	5.9%	0.7%	5.2ポイント増
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	5.5%	0.8%	4.7ポイント増

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。

(1)調査時期:2022年1月1日～2022年11月30日
(2)回答施設数:【2022年】1月(101ホテル17,923室)、2月(103ホテル18,177室)、3月(109ホテル18,522室)、4月(108ホテル18,409室)、5月(108ホテル18,270室)、6月(107ホテル18,197室)、7月(111ホテル18,634室)、8月(111ホテル18,702室)、9月(114ホテル18,908室)、10月(116ホテル19,006室)、11月(112ホテル19,039室)